

医学生の学力低下問題に関するアンケート調査結果報告書

平成25年12月

一般社団法人全国医学部長病院長会議

# 医学生の学力低下問題に関する アンケート調査結果報告書

平成25年12月

一般社団法人  
全国医学部長病院長会議

## 1. 調査の概要

### (1) アンケート送付先

全国国公立医科大学（医学部）80校の医学部長あるいは教育担当者。

### (2) 調査対象期間

2012年4月～2013年4月 在籍学生

(参考) 過去第一回調査：2005年4月～2011年4月

過去第二回調査：2011年3月～2012年4月

### (3) 調査項目

- ① 4月時点の学年別学生数
- ② 学年別の留年者数
- ③ 学年別の休学者数
- ④ 学年別の退学者数
- ⑤ 共用試験（4年次）学生の CBT および OSCE の平均点、最低点
- ⑥ 前期一般入試最終合格者のセンター試験の平成点および最低点
- ⑦ センター試験を採用していない私立大学の一般入試最終合格者の平均点、最低点
- ⑧ 4月時点の6年次学生在籍者数と翌年の3月時点の医師国家試験合格者数（現役）
- ⑨ その他、学力に関する自由意見

## 全国医学部長病院長会議

### 「医学生の学力低下問題検討ワーキンググループ」委員

座長	吉村 博邦	北里大学	名誉教授
委員	神保 孝一	札幌医科大学	名誉教授
委員	山下 英俊	山形大学	医学部長
委員	片山 容一	日本大学	医学部長
委員	奈良 信雄	東京医科歯科大学	教授
委員	後藤 英司	横浜市立大学	教授
委員	有田 順	山梨大学	教授
委員	大原 義朗	金沢医科大学	教授
委員	登 勉	三重大学	特任教授
委員	中西 憲司	兵庫医科大学	学長
委員	田口 敏彦	山口大学医学部附属病院	病院長
委員	濱崎 雄平	佐賀大学	教授
	内山 真記	全国医学部長病院長会議	事務職員

### はじめに

ここ数年、医学部の急激な入学定員増に伴って、医学生の学力の低下を危惧する声が急速に高まっている。全国医学部長病院長会議では、すでに、2009年に「医学生の学力低下問題に関するワーキンググループ」を設置し、過去2回にわたってアンケートによる全国調査を実施しその結果を内外に公表してきた。今回、前2回に引き続き同様のアンケート調査を実施したので、前回の結果と併せて公表する。

### 1. 調査の背景について

#### (1) 学力低下の要因

かねてより①18歳人口の減少、②ゆとり教育の影響、③医学部定員の急激な増加、④指導教員の不足などが挙げられている。前2回の調査でも指摘したが、今回の調査結果でも、背景要因の中では、医学部入学定員の急激な増加が、医学生の学力低下に大きな影響を及ぼしていることが伺える。

#### (2) 最近の医学部入学定員の推移（表1） p2

平成20年（2008年）以降、平成25年（2013年）までの過去6年間に累計1,416名の定員増が図られた。

今回の一連の増員措置は、平成16年（2004年）に導入された新臨床研修制度を契機に全国的に社会問題化した勤務医の医師不足、医療崩壊への政府の対応策の一環として平成20年に導入されたものであり、その後、経年的に増員が図られ今日に至っている。この増員措置は、10年間の期限付きで、10年後に社会状況を勘案し、継続か廃止を検討することとなっている。また、多くは、地方自治体の奨学金と連動した地域枠となっている（一部、研究員枠、薬学部定員削減による振替枠などがある）。

今年までの累計の増員数（1,416名）は、定員100名の医科大学をほぼ14校新設したことに匹敵し、増員前の平成19年（2007年）のいわゆる抑制時定員である7,625名に比べると、平成25年（2013年）は9,041名、18.6%の増員が図られたこととなる。

なお、従来から医師不足が叫ばれていた東北6県では、以前の560名から本年は772名へと、合計212名の増員となっており、ほぼ2大学が新設された規模に相当し、定員数では約40%の大幅な増員となっている。

このように、入学の門戸が広がれば、入学者の質の低下が懸念されるのは当然のことといえる。

なお、本年（2013年）は、一連の増員が図られた最初の年（2009年）に入学した学生が最終学年である6年生に進級した年にあたり、増員学生は、来年以降、順次卒業する予定である。

最近の医学部入学定員の推移

(表 1)

	入学定員	増員数	累計増員数
平成 19 年	7,625 名 (抑制時定員)	—	—
平成 20 年	7,793 名	+ 168 名	( + 168 名 )
平成 21 年	8,486 名	+ 693 名	( + 861 名 )
平成 22 年	8,846 名	+ 360 名	( + 1,221 名 )
平成 23 年	8,923 名	+ 77 名	( + 1,298 名 )
平成 24 年	8,991 名	+ 68 名	( + 1,366 名 )
平成 25 年	9,041 名	+ 50 名	( + 1,416 名 )

(参考 : 平成 25 年 地域枠 1,380 名 + 自治医科大学 123 名 = 1,503 名 )

2. アンケート調査結果

(1) 在籍学生数の推移 (過去 4 年間) (図 1) p 7

- ① 全体的には、経年的に在籍学生数は増加している。特に、1 年～4 年生は 9,000 名を超えている。  
いずれ、9,000 名を超える学生が卒業することになる。
- ② 定員増が開始された平成 20 年に入学した学生 (増員数 168 名) は、今年 6 年生に進級している (はずである) が、今年の 6 年の在籍者は、昨年と比べ、全く増えていない (増員分が途中でドロップアウトしている)。
- ③ 詳細は省くが、5 年生、4 年生の学生数も、増員分の学生数よりは、やや少ない (途中で進級できなかった学生がいる)。4 年～6 年で、増員分のうち約 700 名が進級できていない。一方、2 年次の在籍学生数が 9,700 名、に達しており、入学者数より 700 名多い。すなわち、2 年生で留年者が約 700 名滞っている (3 年に進級できなかった学生が在籍している) ことが示めされている。

(2) 留年者の推移 :

53 大学 (国立 30 校、公立 2 校、私立 21 校) (図 2～13) p8～ p 13

- ① 1 年生、2 年生、3 年生の留年者は、定員増に伴って、経年的に有意に増加している。特に、1 年生の留年者は、絶対数も増加しているが、入学者に対する留年者の比率が、入学者増の比率以上に増加している (入学者が増えれば、留年者も増えるはずであるが、入学者の増加率以上に留年者の比率が増加)。
- ② 特に、国立大学で、留年者が増加している傾向がある。

(3) 休学者の推移 :

50 大学 (国立 28 校、公立 2 校、私立 20 校) (図 14～25) p 14～ p 19

- ① 1～3 年の留学者が、定員増に伴って有意に増加している。
- ② 国立大学で 1 年生、2 年生の休学者が有意に増加。

(4) 退学者の推移 :

50 大学 (国立 28 校、公立 2 校、私立 20 校) (図 26～37) p 20～ p 25

退学者については、現在のところ有意な増加は見られない。

(5) 共用試験 (4 年次学生) の成績の推移 :

72 大学 (国立 37 校、公立 6 校、私立 29 校) (図 38～41) p 26～ p 29

- ① CBT、OSCE とも、平成 17 年以降、平成 23 年、平成 24 年まで、低下傾向は認めない。
- ② 平成 23 年、平成 24 年の 4 年次学生は、増員があった初年度、2 年目の入学者であるが、4 年生まで進級出来た学生の成績は、今のところ良好であることが示されている。

(6) 就学期における成績について

1) 前期一般入試、最終合格者のセンター試験の平均点・最低点の推移

(H18～H24 年 : 31 校、25 年 : 30 校) (図 42) p 30

- ① 国公立の一部の大学の結果である。
- ② やや低下傾向にあるように見えるが、各年度とも主要 6 教科の全国の全受験者の平均点より、20 点程度高い。また、全国平均と良く連動している。全国平均が一定でない (試験の難易度が一定でない) ため、意義は明らかでない。

2) センター試験を採用していない私立大学の一般入試最終合格者の平均点、最低点の推移

(H18～H19 年 : 6 校、H20～H25 年 : 7 校) (図 43) p 30

限られた少数の大学の結果である。一時、低下傾向を示したが、最近は、上昇傾向にある。試験の難易度が一定でない可能性もあり、意義は明らかでない。

(7) 4 月時点の 6 年次学生の在籍者数と翌年 3 月の医師国家試験合格者数と合格率の推移

(図 44) p 31

全て、定員増以前の学生の結果であるが、平成 17 年より平成 24 年まではほぼ一定の合格者数、合格率を示している (全 80 校)。今後、増員後の学生の結果が注目される。

### (8) 学力低下についての自由意見 (図 45) p 31

学力低下に対する各大学の対応 (カテゴリ別の回答数)

自由意見の詳細は P59～P 65 に掲載

- ① 学力低下には、基礎学力の低下以外に、社会規範の欠如やメンタルな問題を抱えた学生、モチベーションの低い学生など、様々な要因が挙げられる。
- ② 各大学とも、学力の乏しい学生に、チューターやメンターを付けたり、個別指導を行うなど様々な工夫を行っている。

### (参考資料)

#### 1. 医学部入学定員と 18 歳人口の推移 (表 2) p 32

- ① かつて、昭和 41 年頃は、入学定員は約 3,500 人、18 歳人口は約 250 万人。18 歳人口の 700 人に 1 人が医学部に入学 (18 歳人口千人あたり、1.4 人の医師を養成)。
- ② 平成 25 年 (本年)、入学定員約 9,000 人、18 歳人口約 120 万人。18 歳人口の 136 人に 1 人が医学部に入学。入学の難度は、以前の 5 分の 1 (易しい)。(18 歳人口千人あたり、7.4 人の医師を養成している)。
- ③ このままの定員では、平成 42 年 (2030 年) には、115 人に 1 人が医学部に入学 (18 歳人口千人あたり約 9 人の医師を養成することとなる)

#### 2. 我が国の医師数の動き (図 46) p 32

平成 24 年の入学定員 (8,991 人) での医師の将来予測 (千葉大学医学部地域医療部 藤田伸輔)

- ① 2026 年に、OECD 加盟の G7 の平均医師数 人口 10 万人対 298 人に達する。
- ② 2029 年に、OECD 加盟国の平均医師数 人口 10 万人対 309 人に達する。

### 3. アンケート結果のまとめ

- ① 在籍学生数は増加傾向にあるが、高学年の学生数は、増員分をやや下回る傾向にある。特に、2 年次で在籍者が滞っている。
- ② 留年者は、1-3 年次学生で、休学者は、1-2 年次学生で、前回調査に引き続いて経年的に有意な増加傾向を認める。
- ③ 4 年次学生 (4 年生まで進級できた学生) の共用試験 (CBT、OSCE) の平均点、最低点は、不変である。
- ④ 6 年次学生 (全て増員前の学生) の医師国家試験合格者数、在籍者に対する合格者比率は、不変である。
- ⑤ センター試験採用の大学における最終合格者のセンター試験の平均点、最低点は、全国受験者の平均点にほぼ関連している。
- ⑥ 大学教員の多くが医学生の実感しており、各大学は、様々な対応策を講じている。

### 4. 結 語

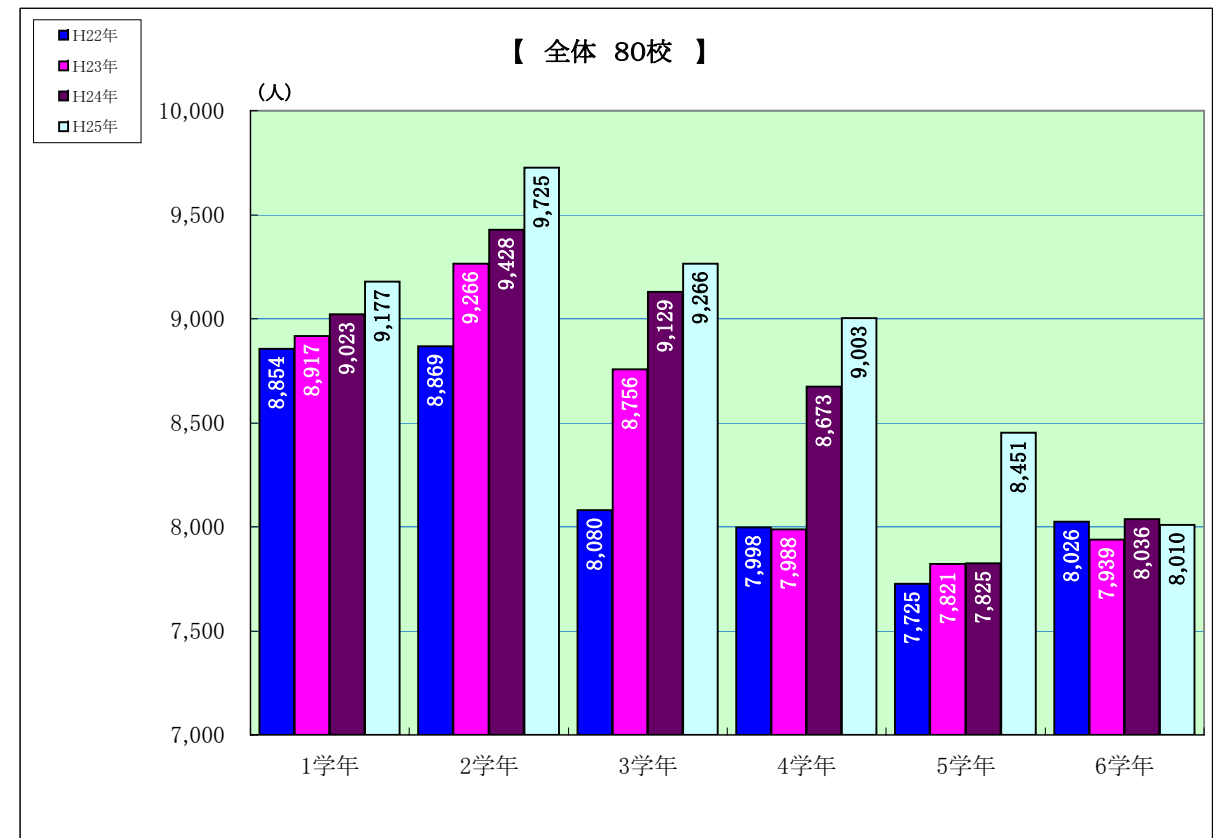
多くの教員が、医学生の実感しており、今回の調査でも、引き続き、低学年での留年者、休学者が増加している。

学力以外にも、社会性の乏しい学生や、精神的な問題を抱えた学生など、様々な問題を抱えた学生が増えていることが指摘されている。

今後、少子化の進展により、医学部入学の門戸はさらに広がることが予測される。これ以上の大幅な定員増、あるいは医学部新設は、医学生の資質の一層の低下を招く恐れがあり、また、教員の負担増も強く懸念される。引き続き、関係各方面に対し、適切な対応を求めたい。

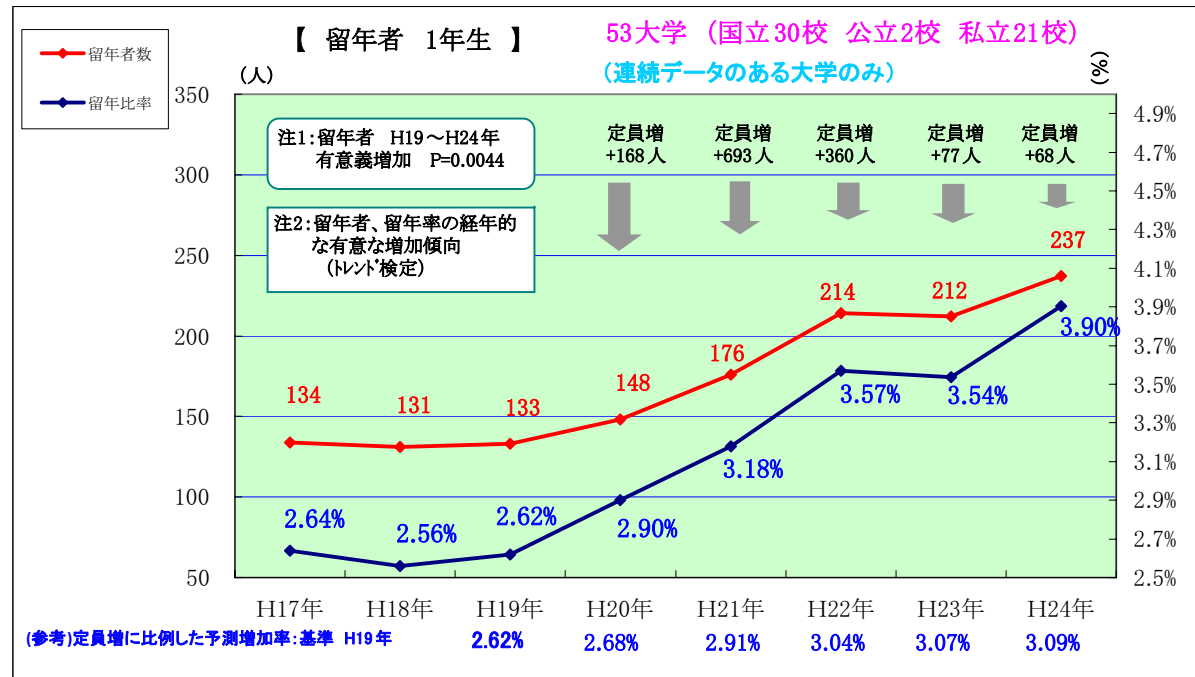
(1) 【 在籍学生数の推移 】 ( 過去4年間 )

(図1)

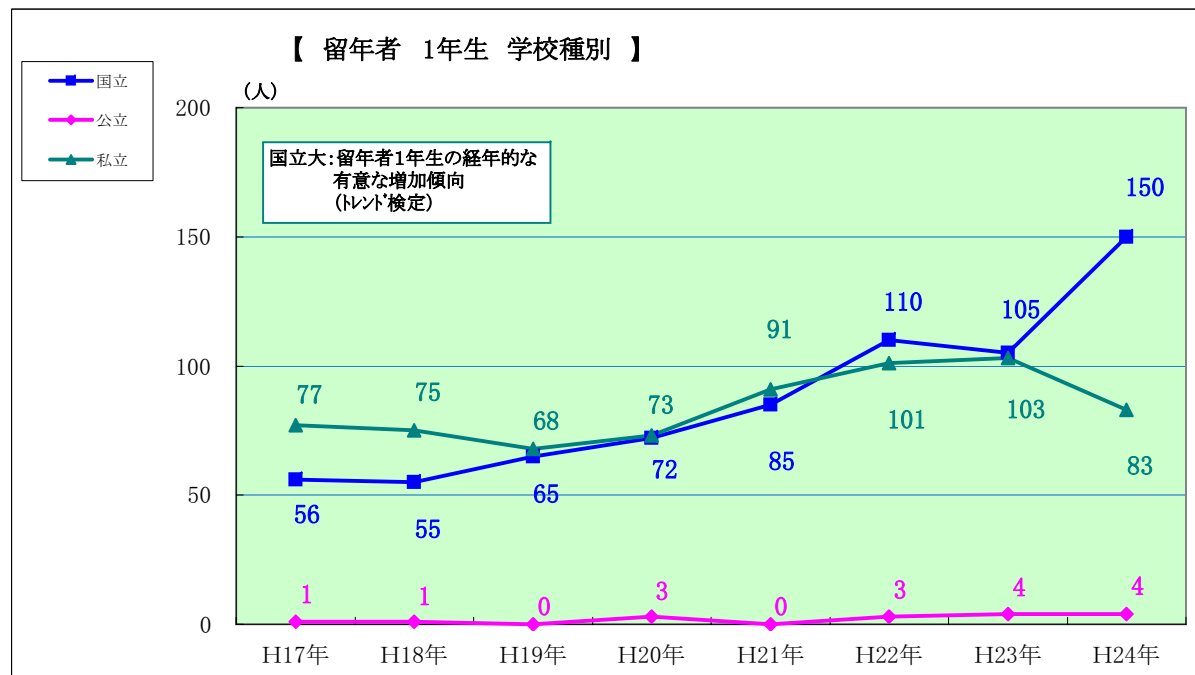


(2) 【平成17年度(2005)～平成24年度(2012)の学生】の、各学年留年者数の推移

(図2)

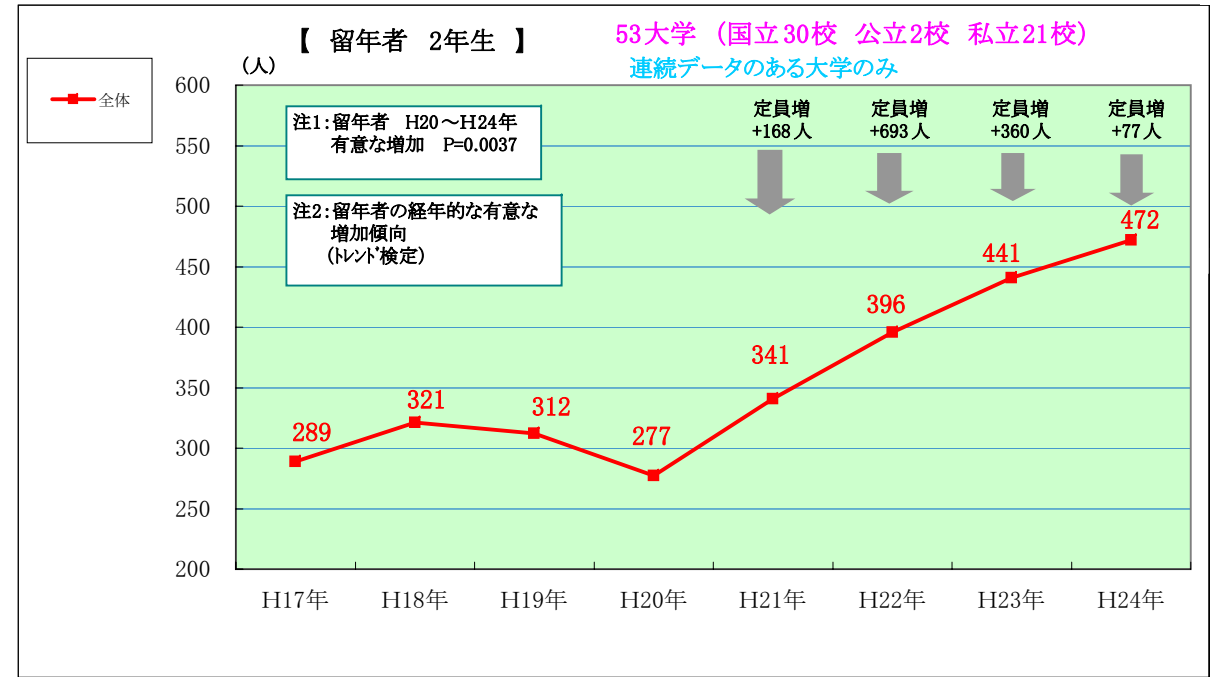


(図3)

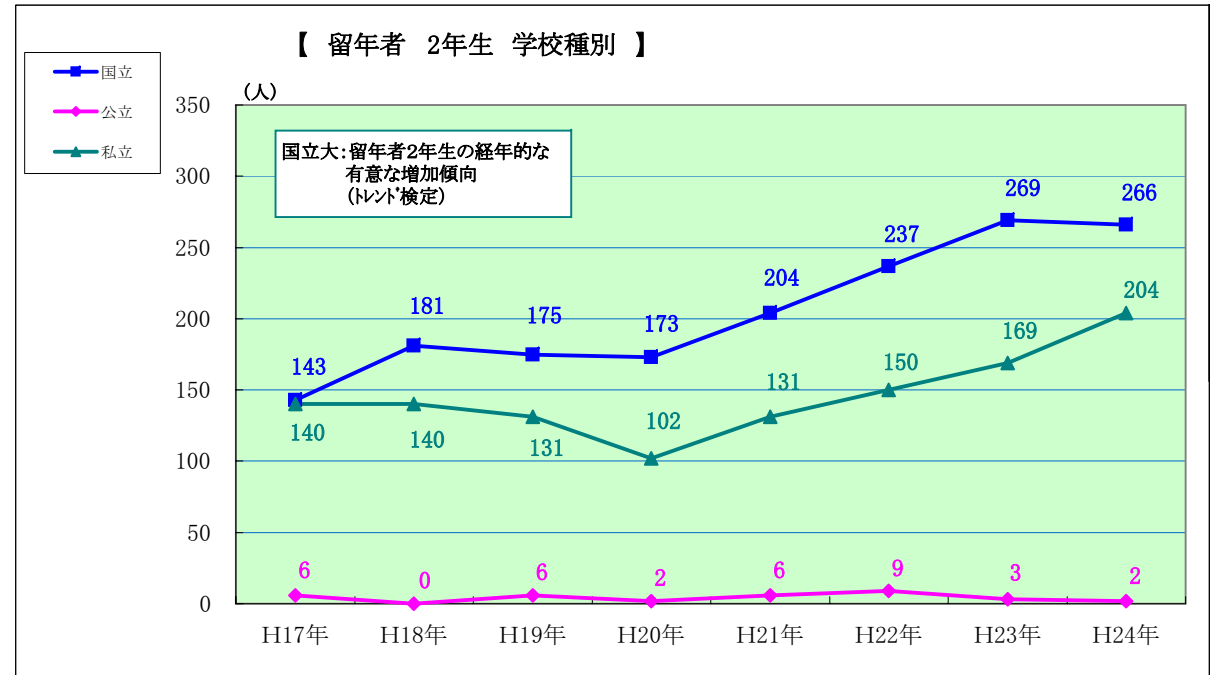


【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校

(図4)

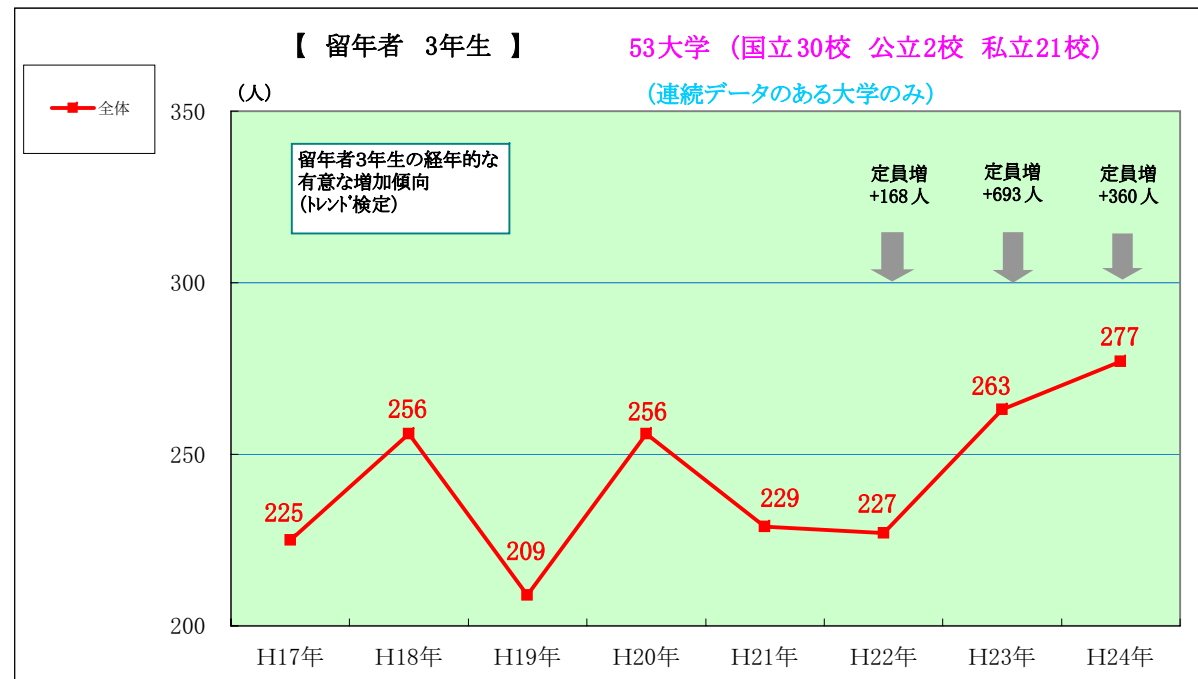


(図5)

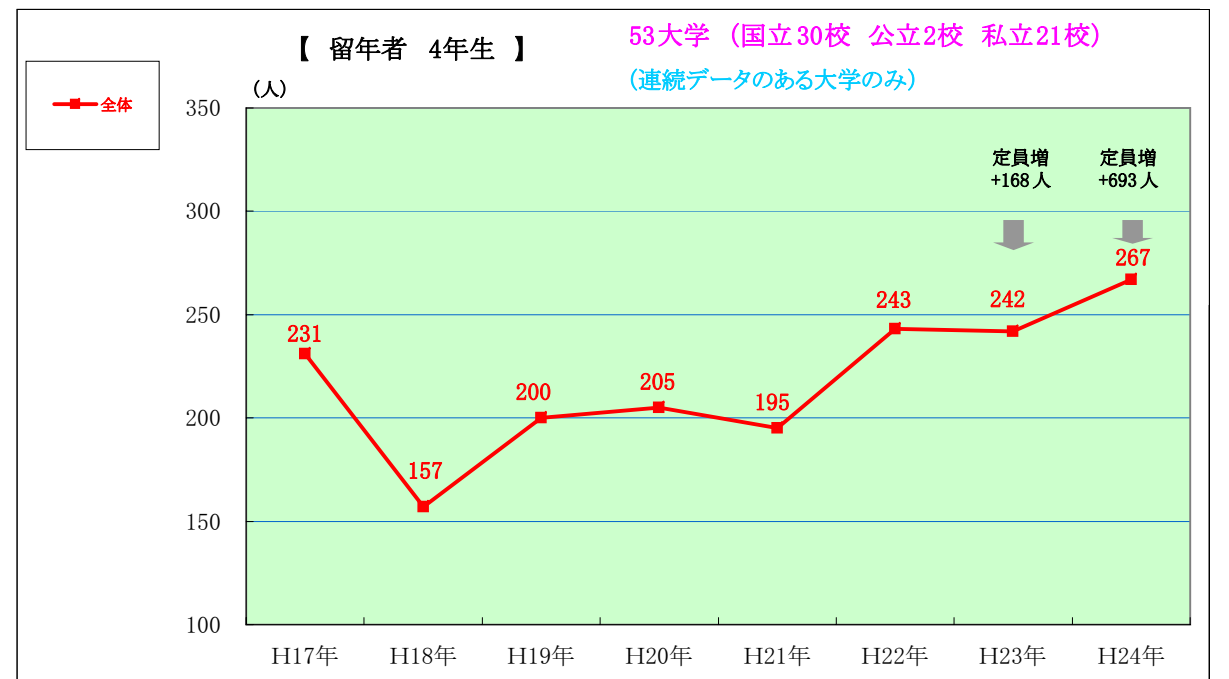


【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	52校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校

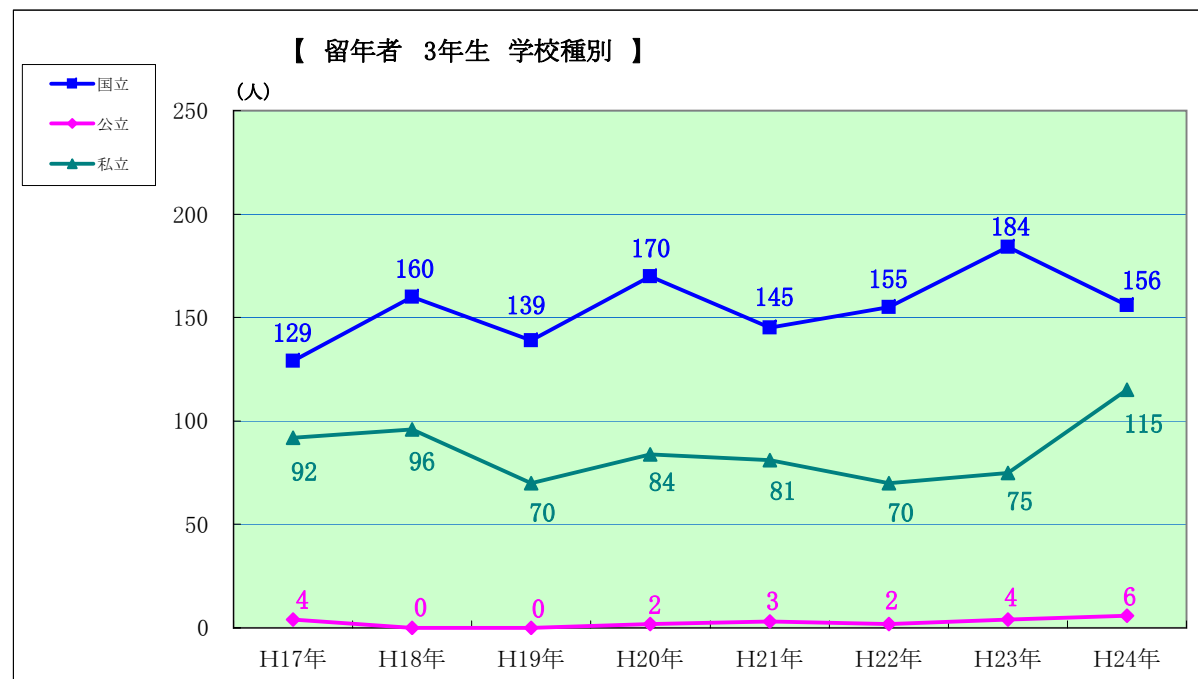
(図6)



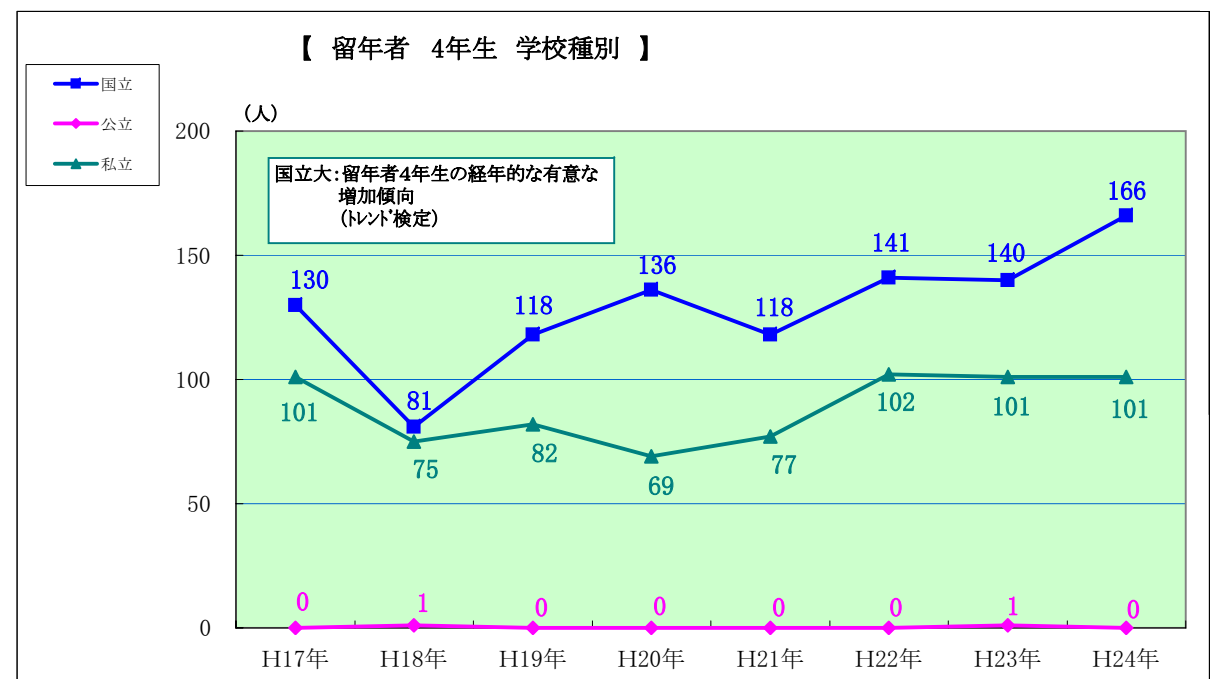
(図8)



(図7)



(図9)

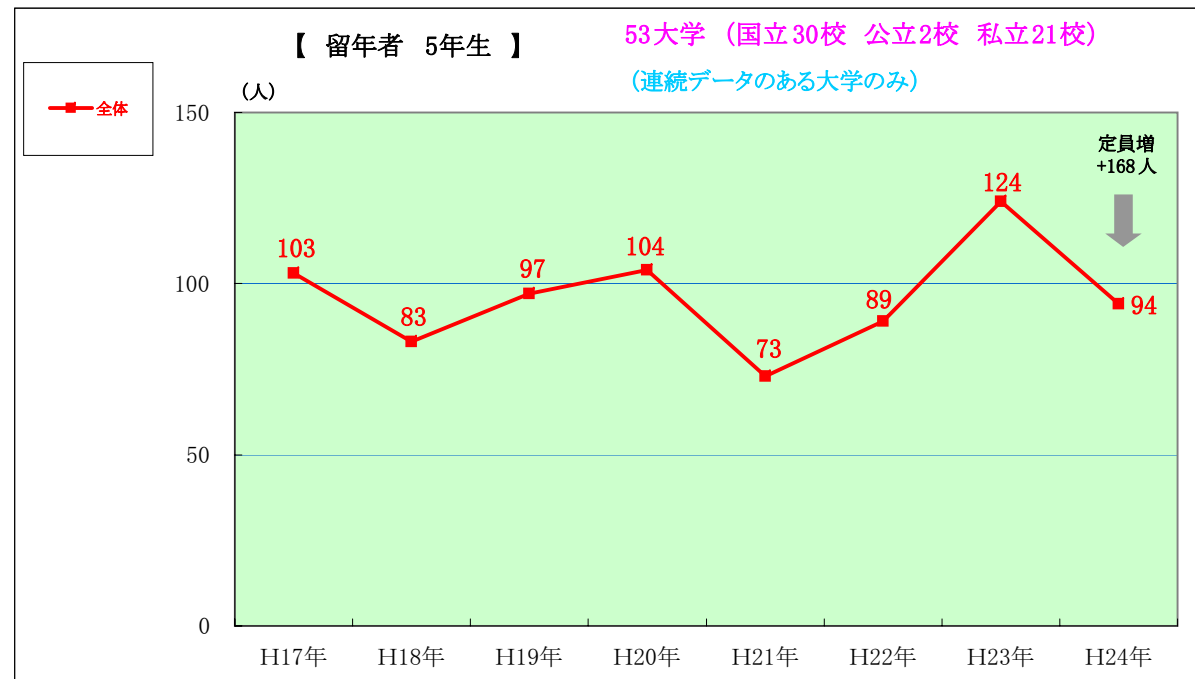


【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校

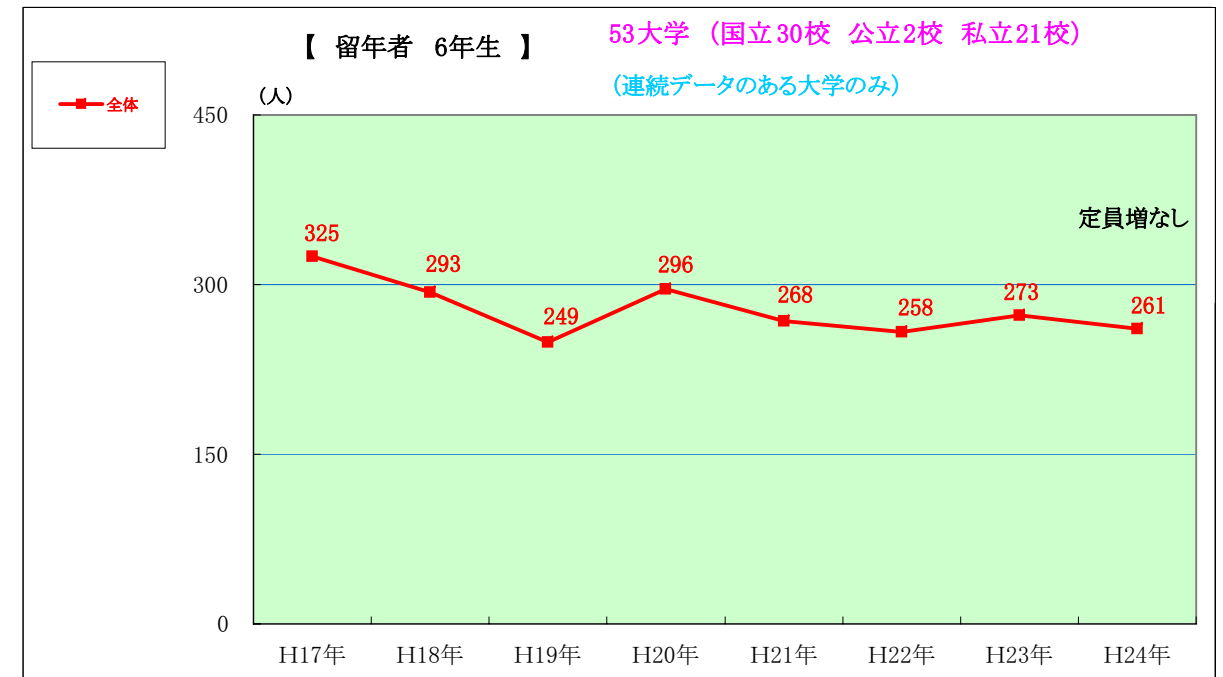
【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校



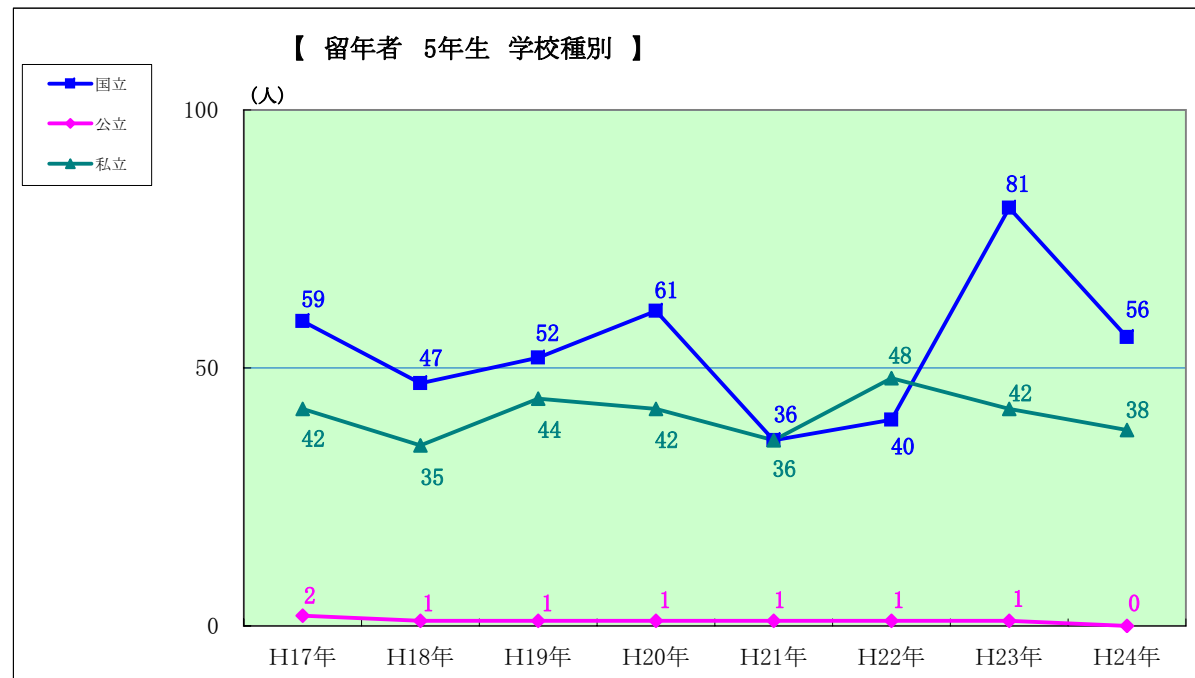
(図10)



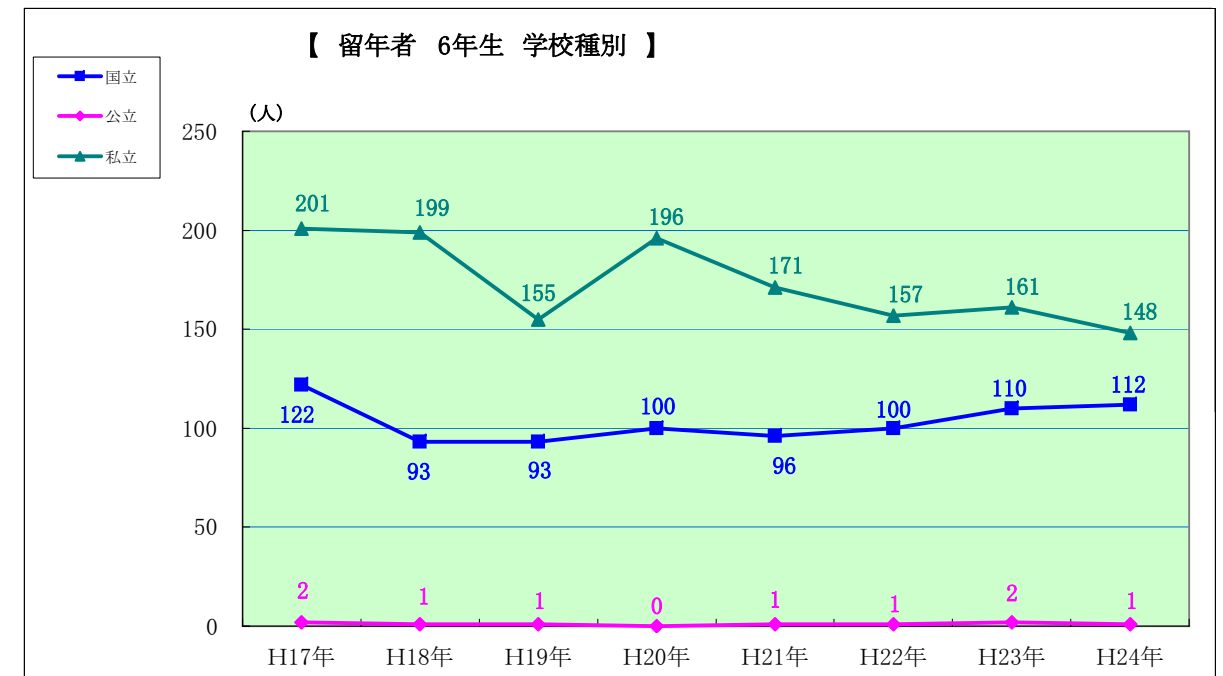
(図12)



(図11)



(図13)

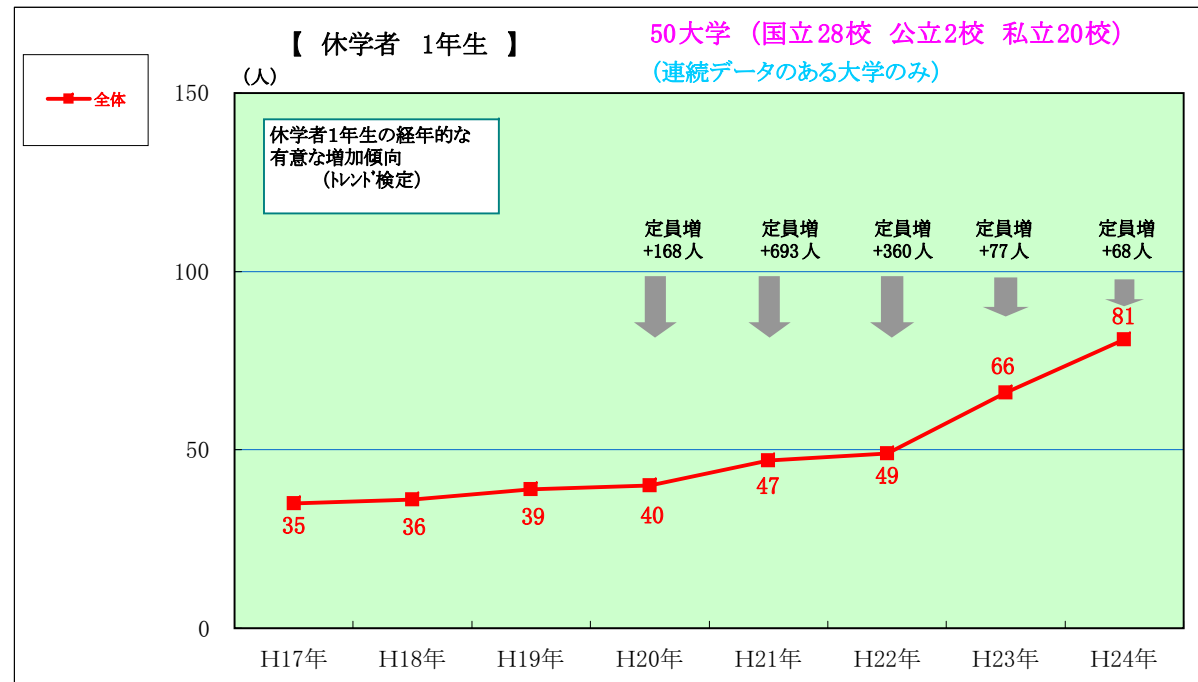


【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校

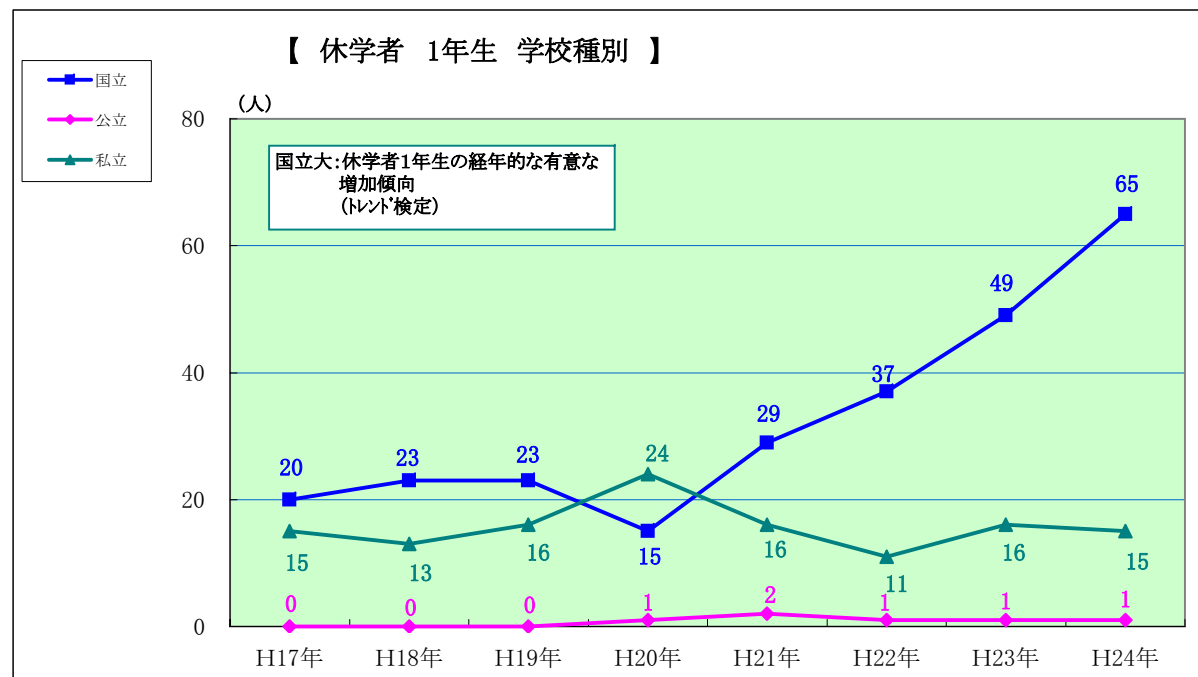
【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	52校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校

(3) 【平成17年度(2005)～平成24年度(2012)の学生】の、各学年休学者数の推移

(図14)

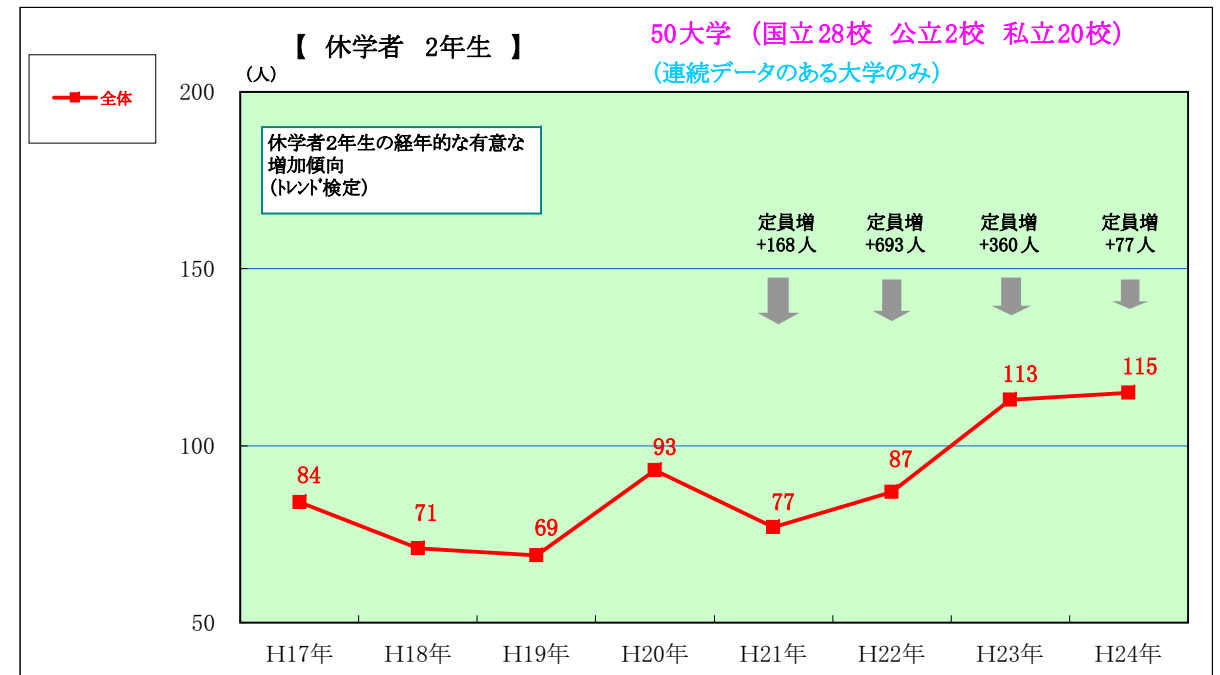


(図15)

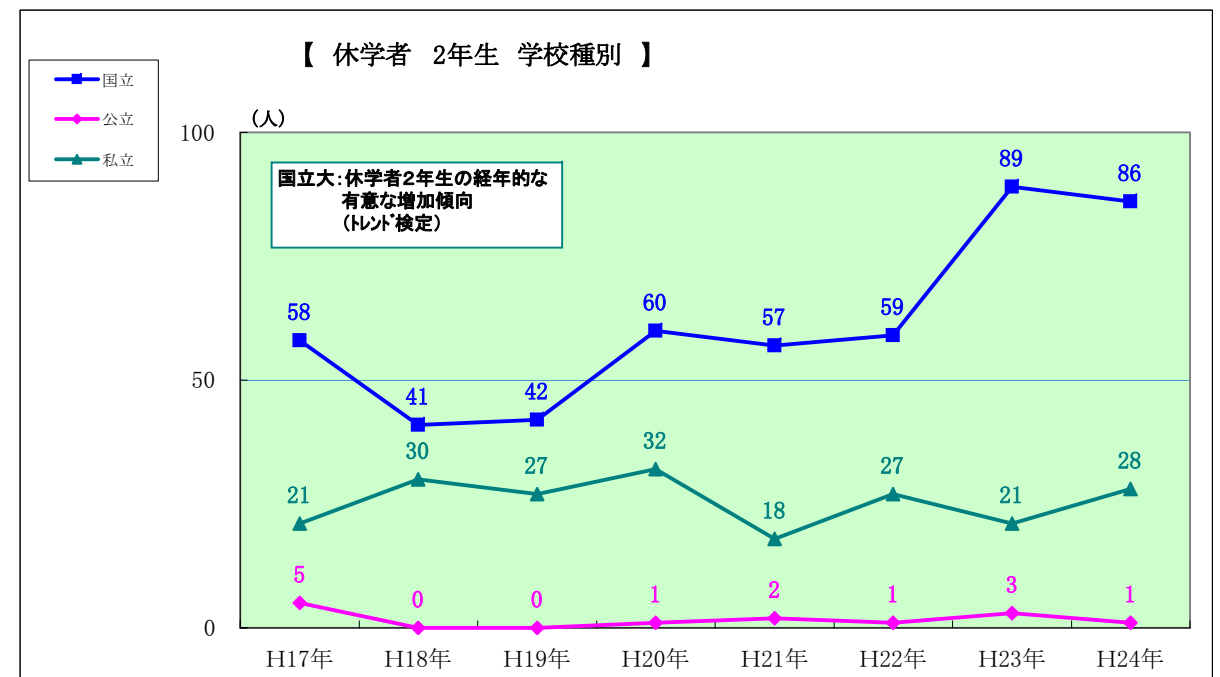


【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

(図16)

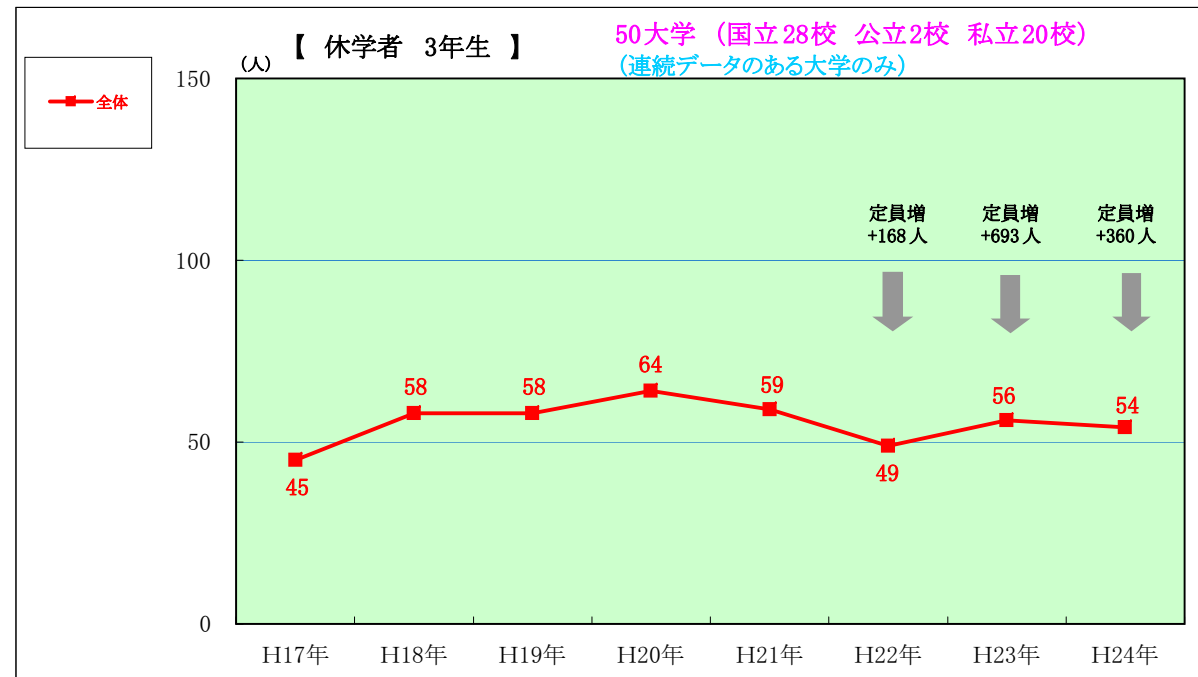


(図17)

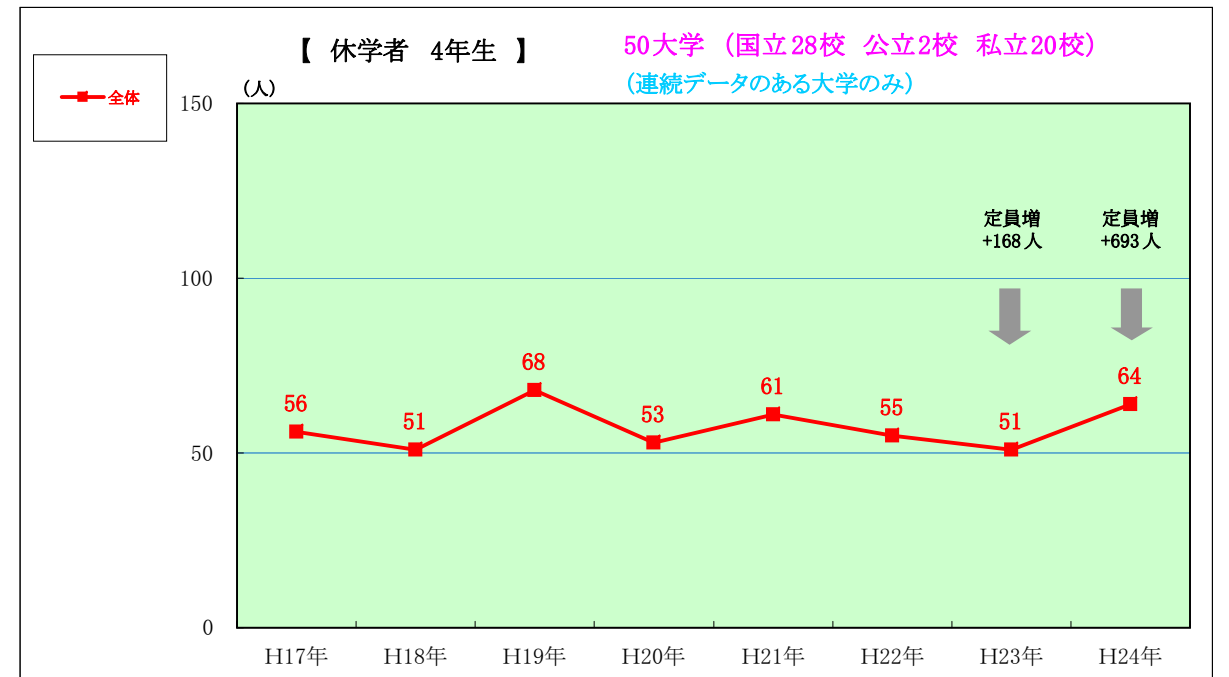


【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

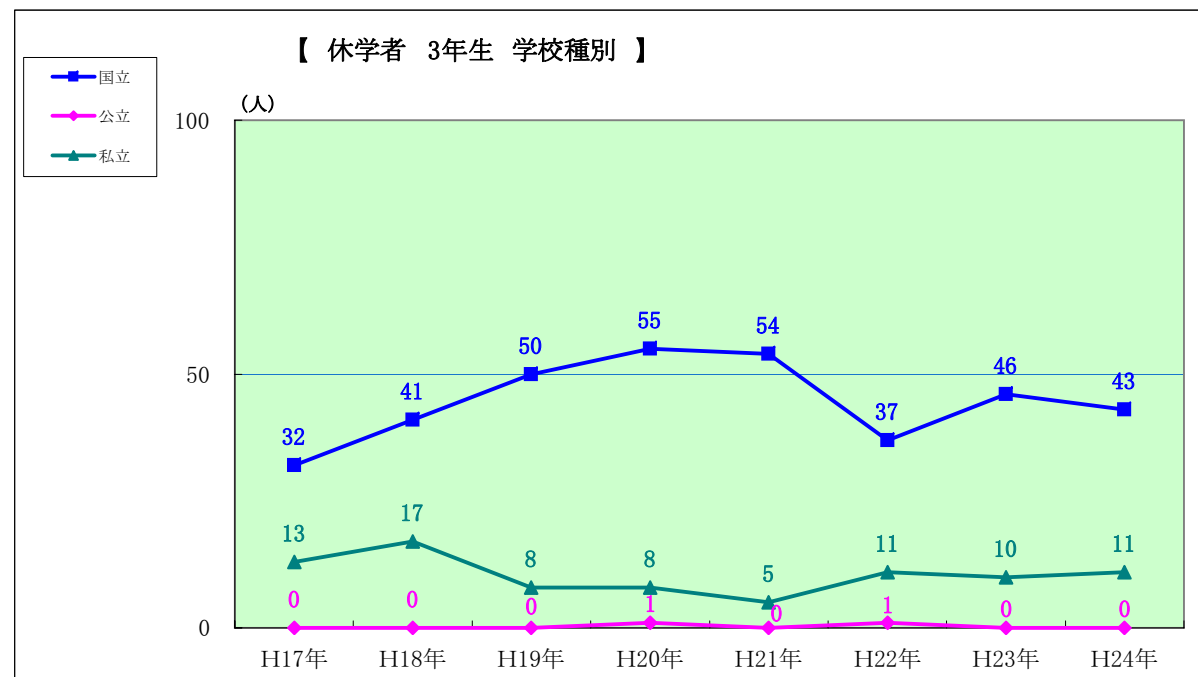
(図18)



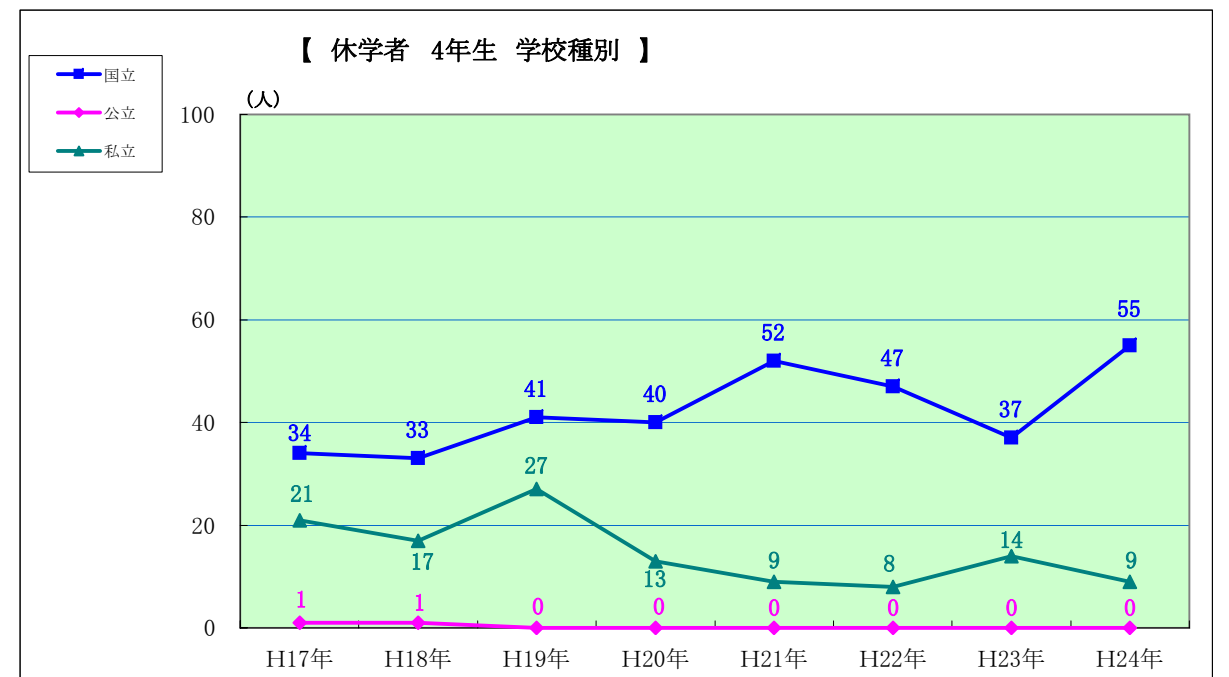
(図20)



(図19)



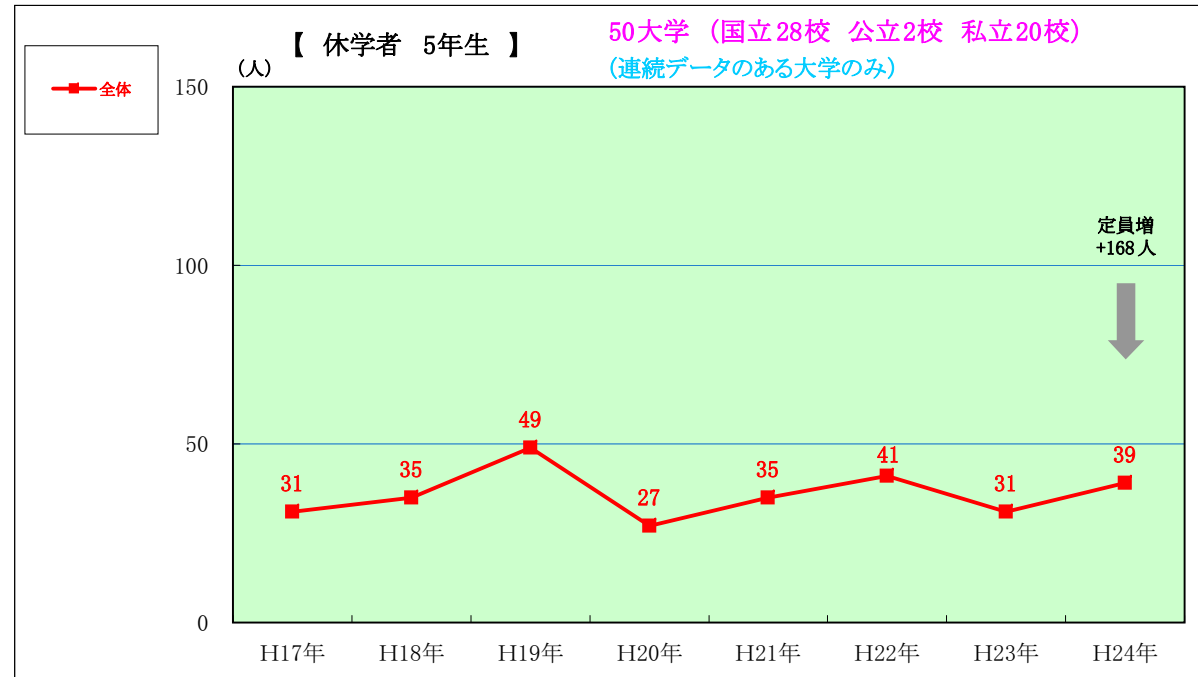
(図21)



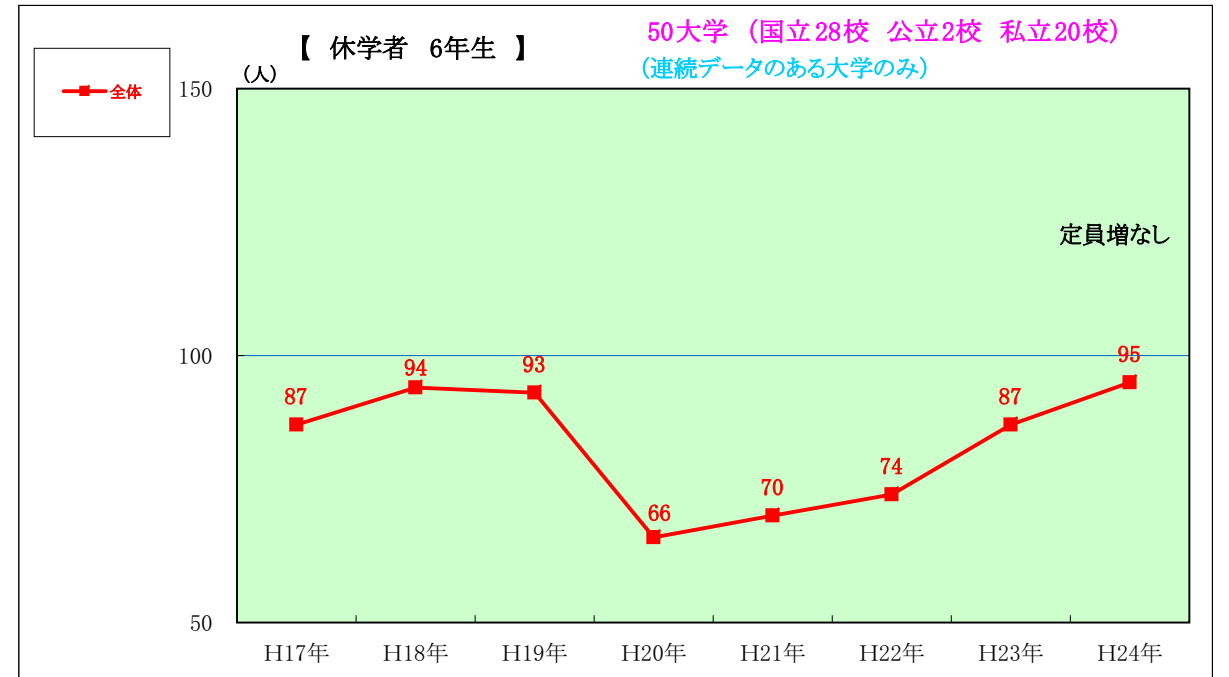
【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

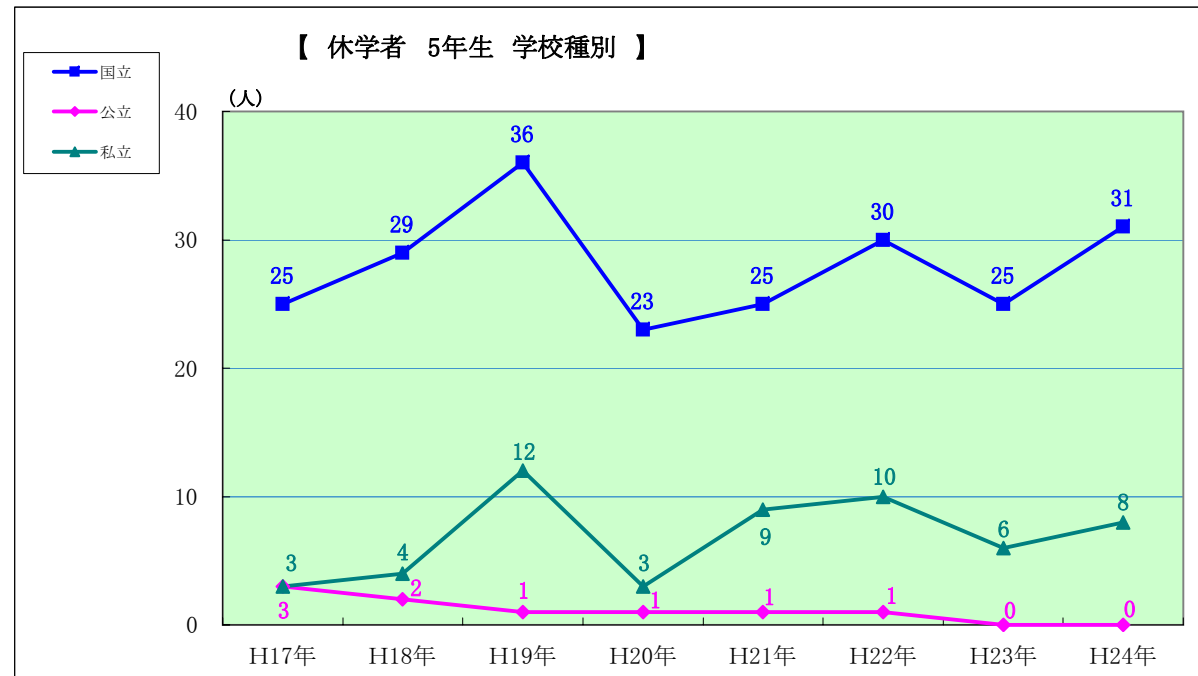
(図22)



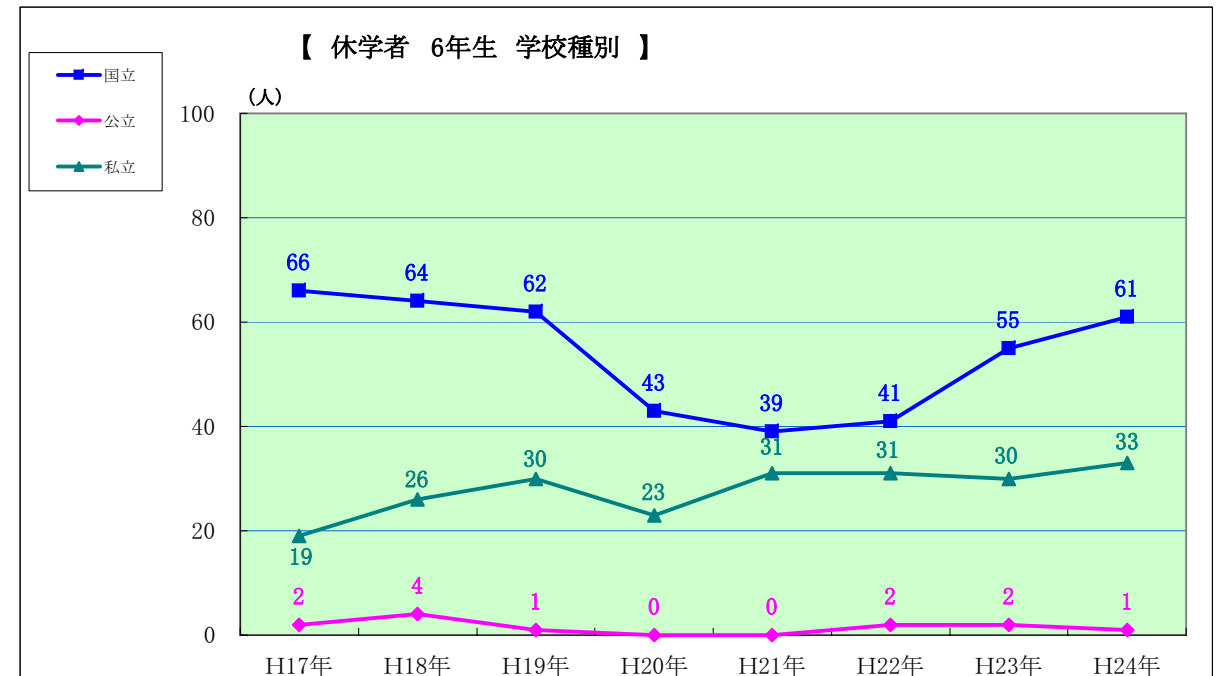
(図24)



(図23)



(図25)

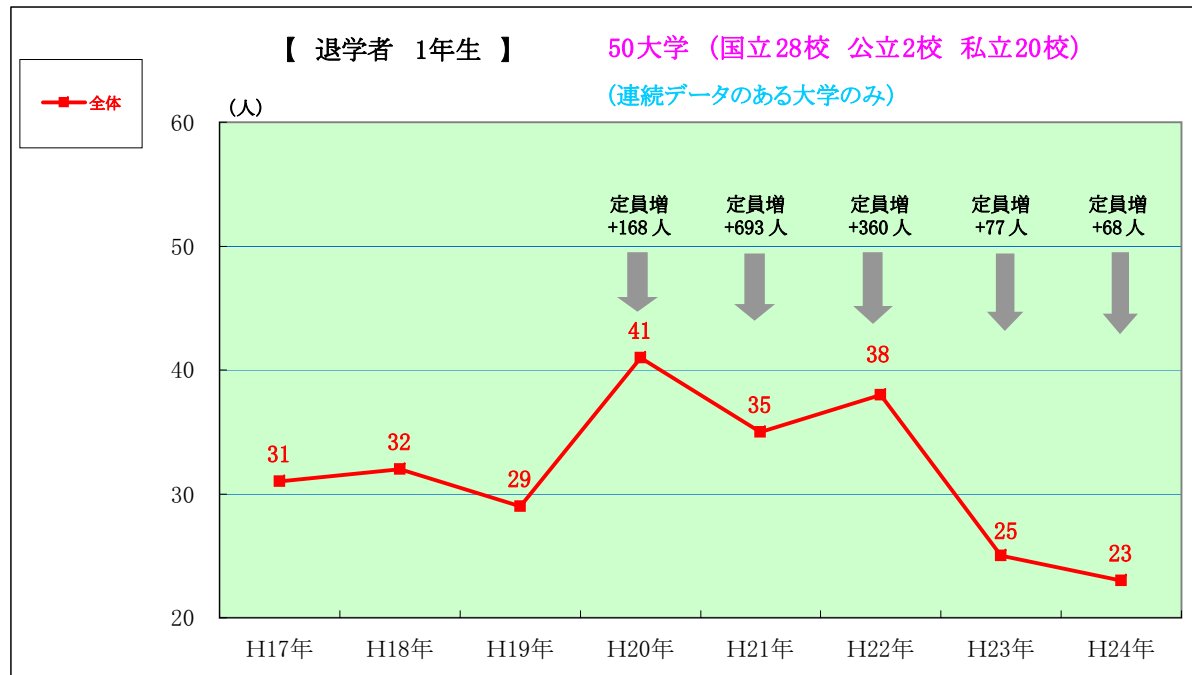


【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

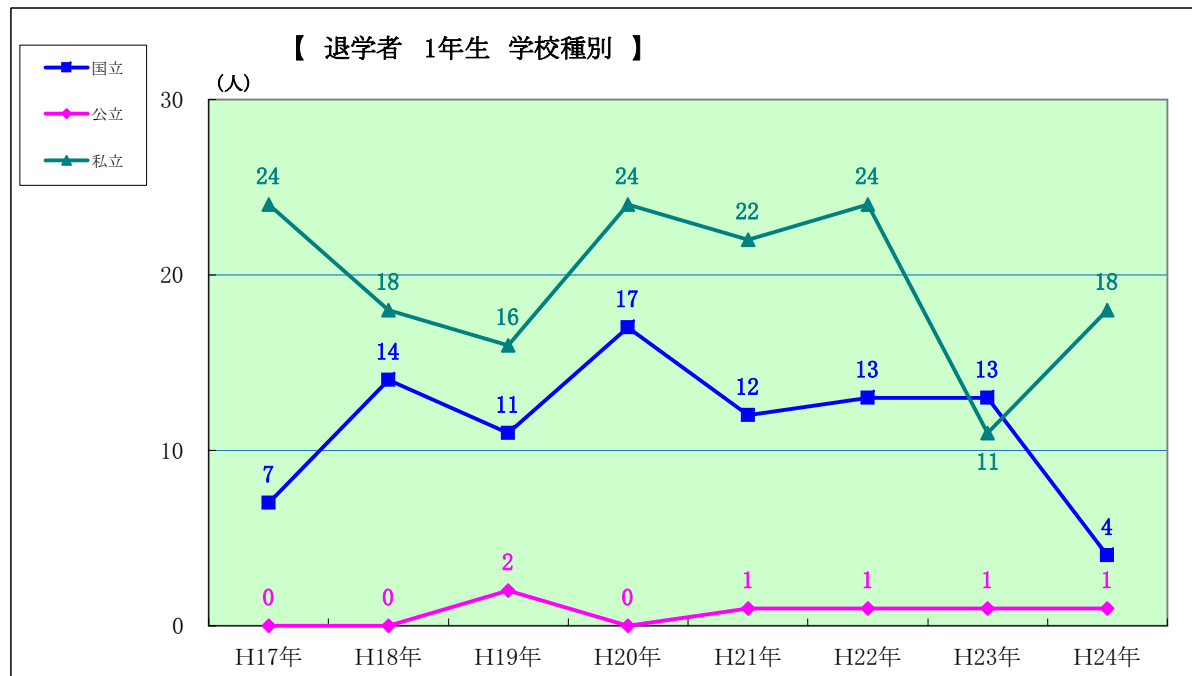
【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

(4) 【平成17年度(2005)～平成24年度(2012)の学生】の、各学年退学者数の推移

(図26)

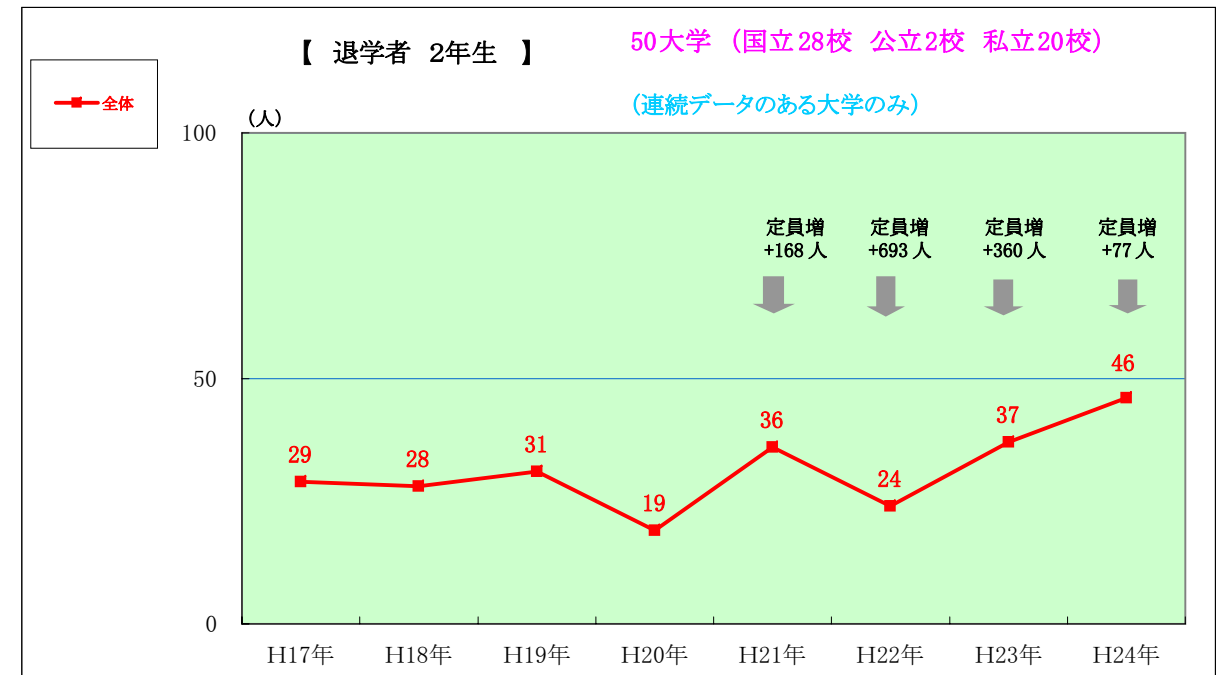


(図27)

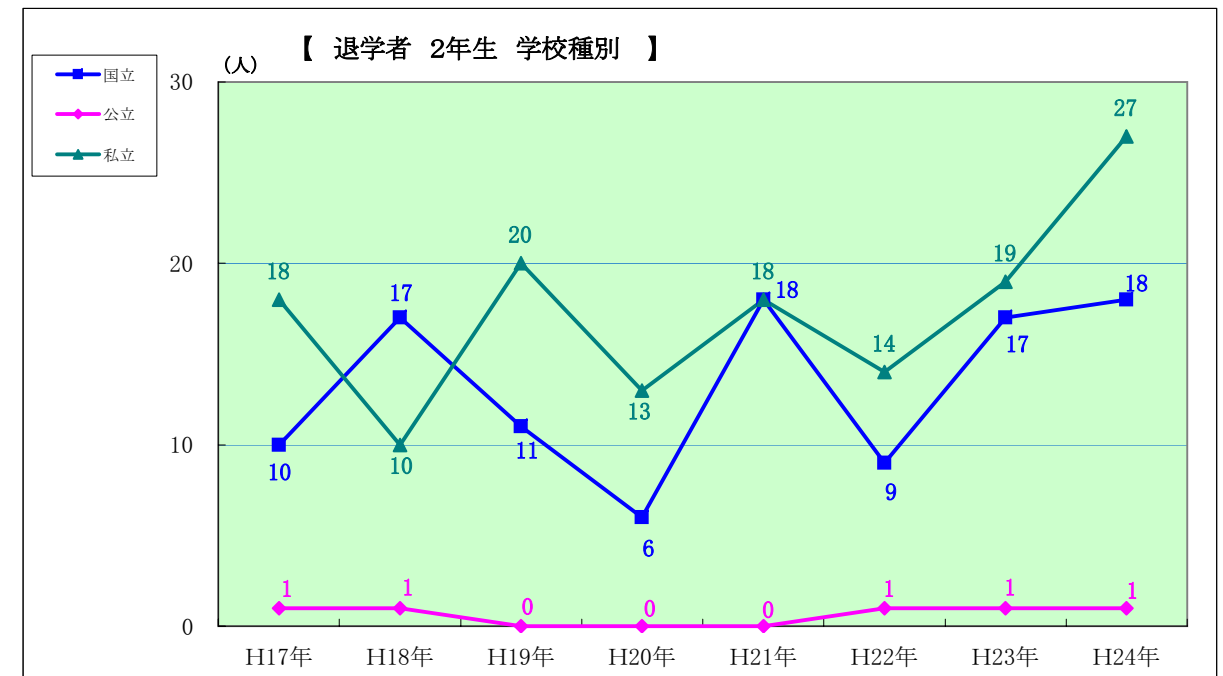


【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

(図28)

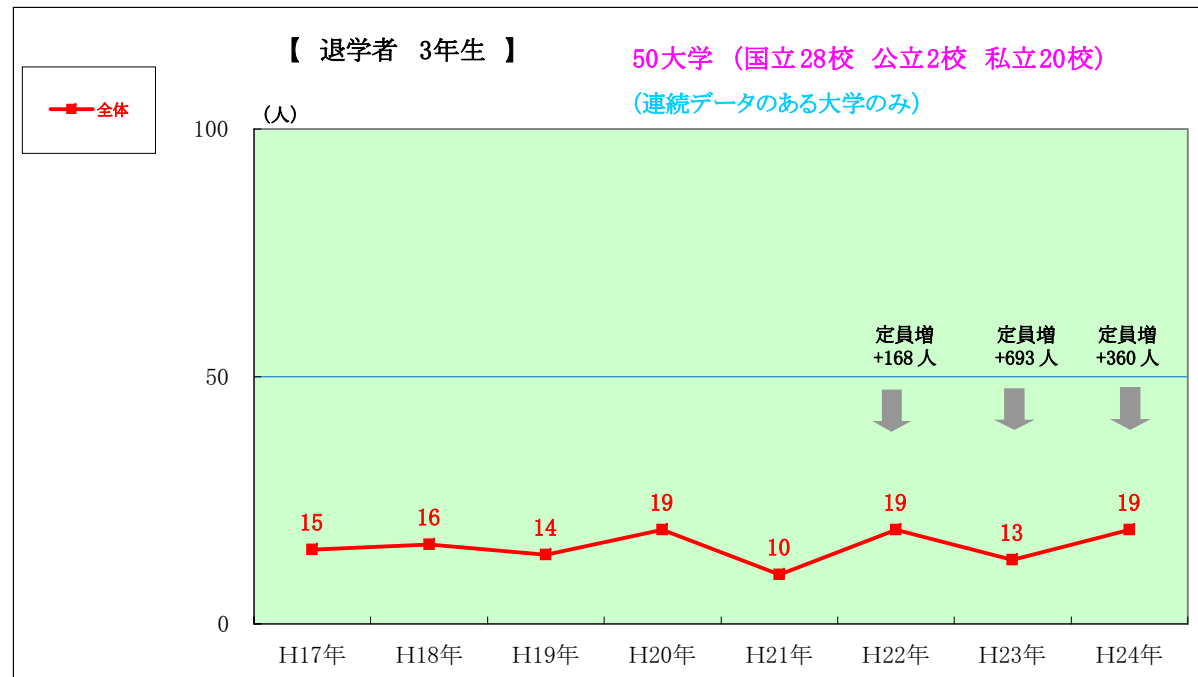


(図29)

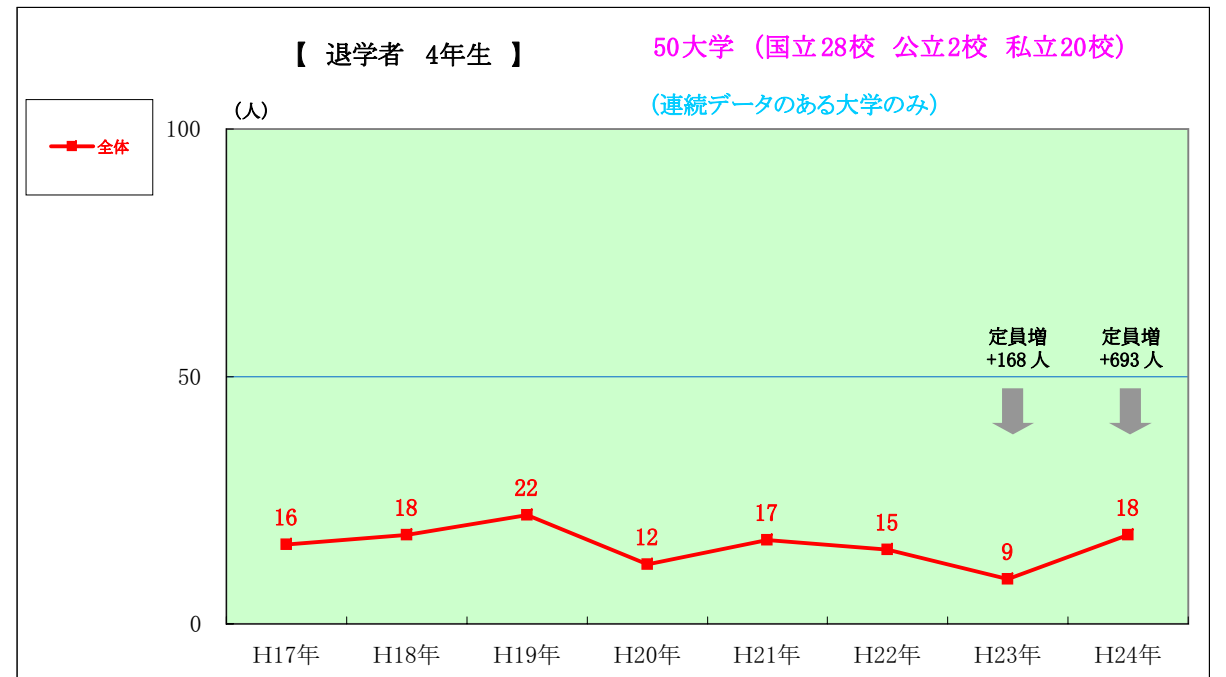


【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

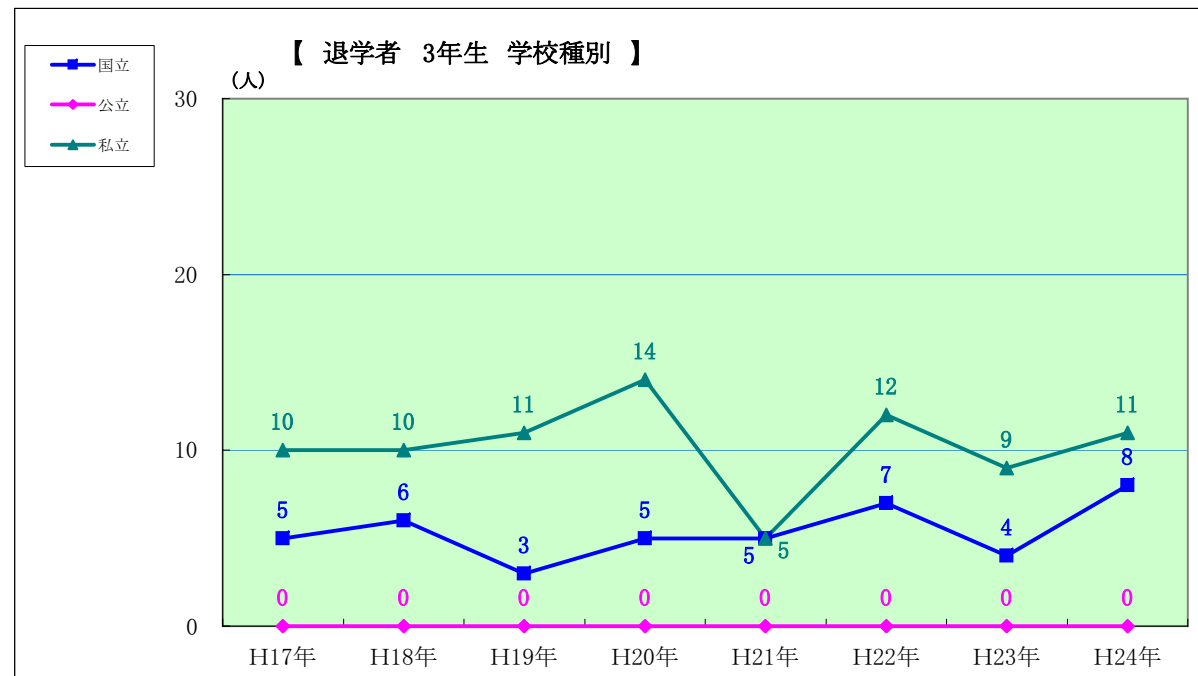
(図30)



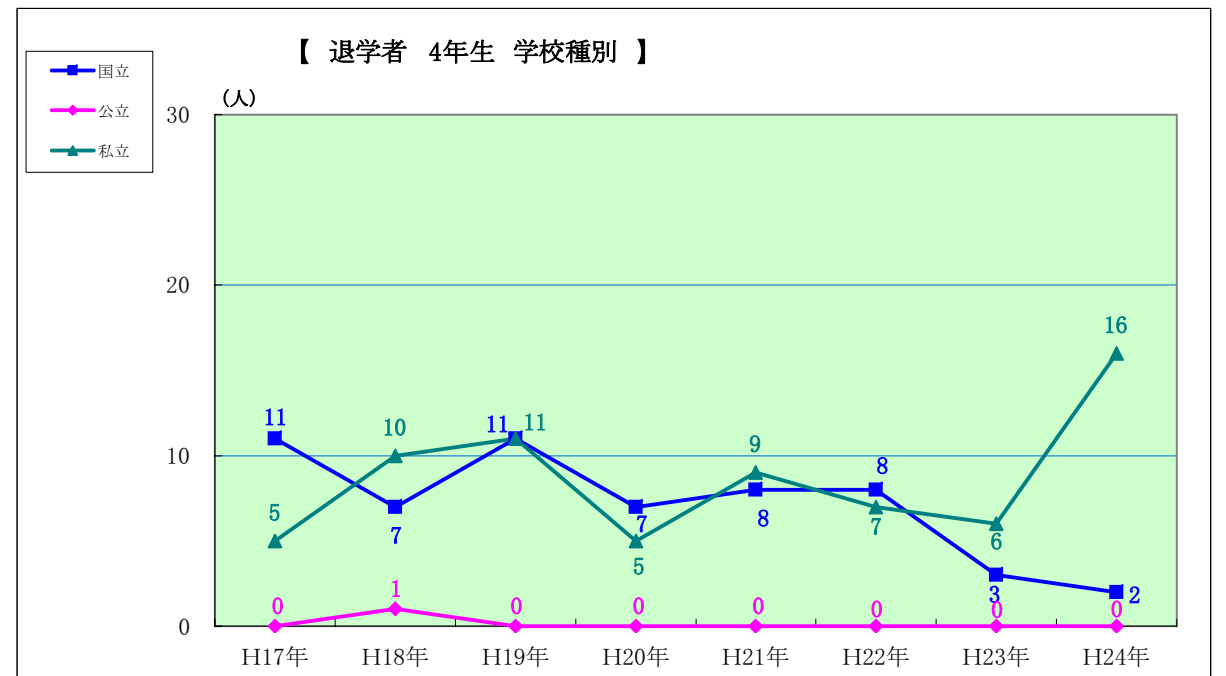
(図32)



(図31)



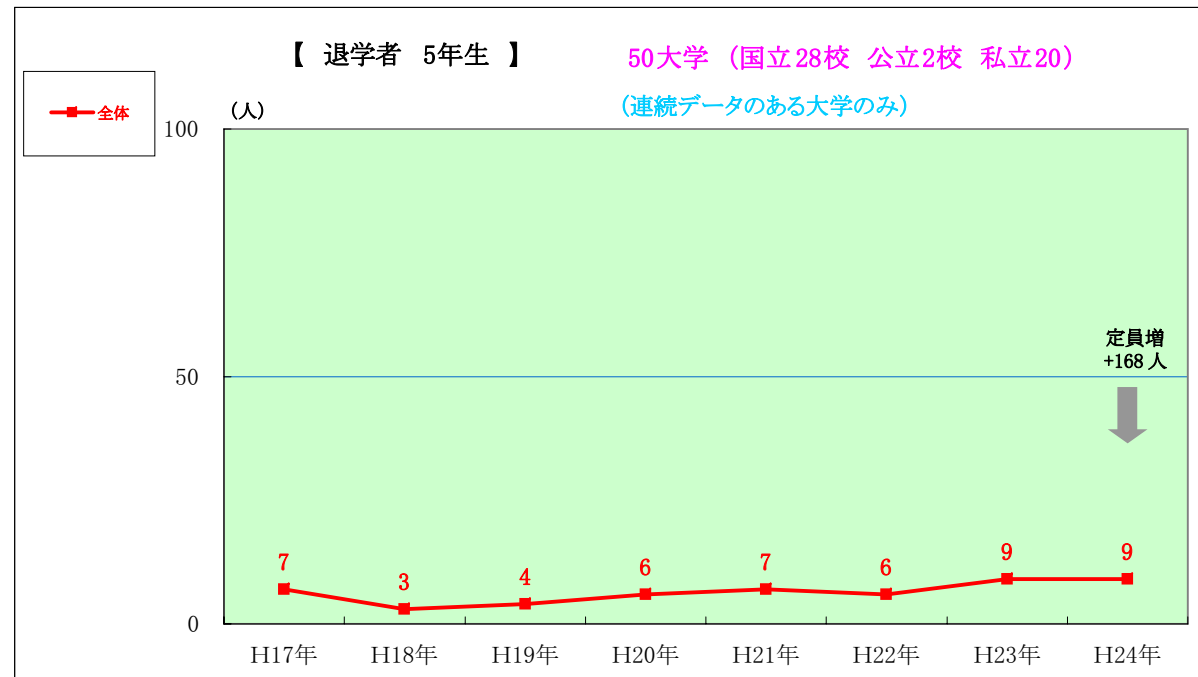
(図33)



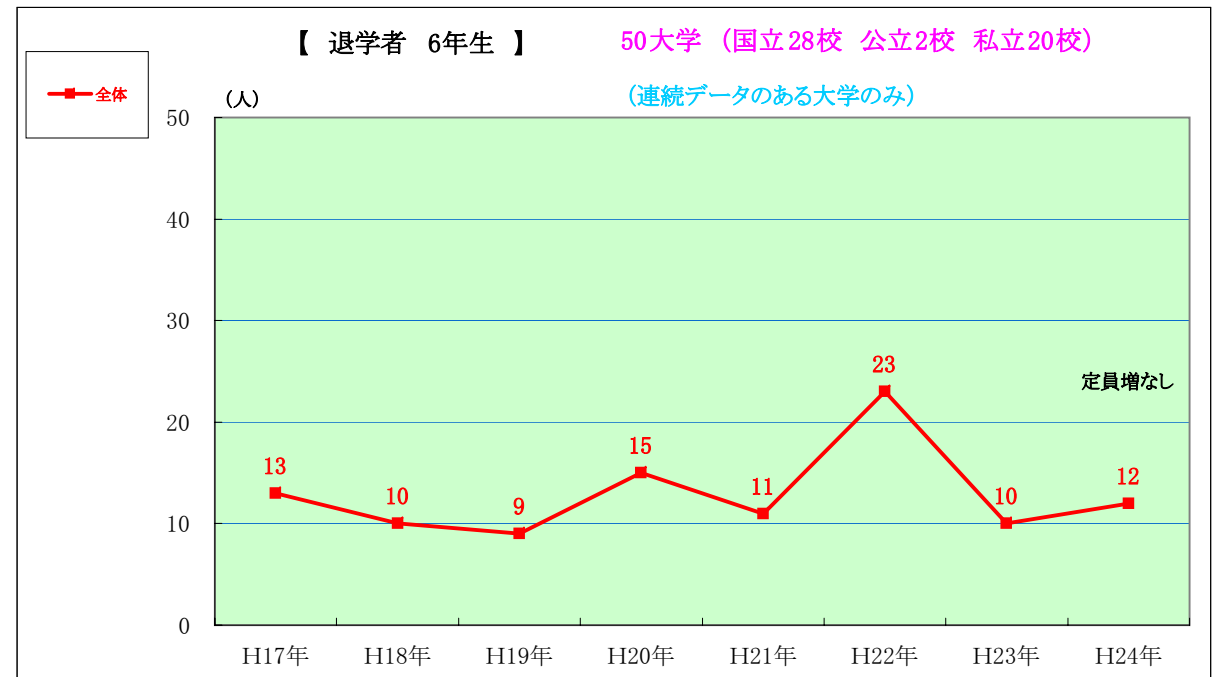
【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

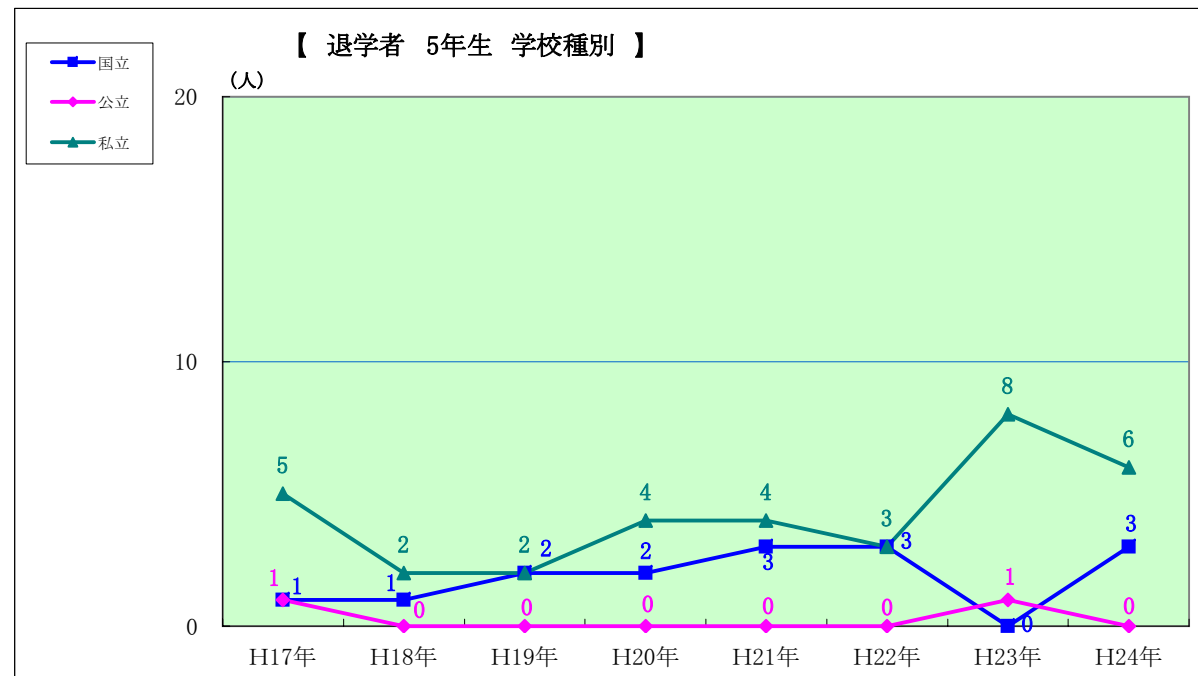
(図34)



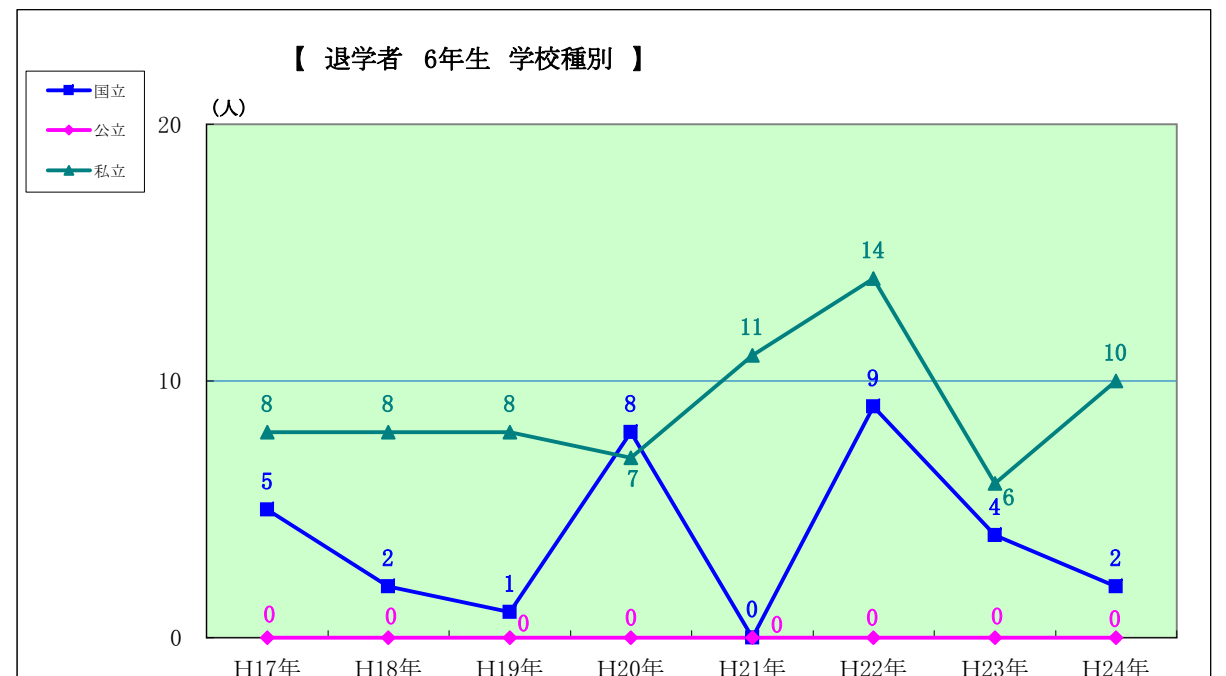
(図36)



(図35)



(図37)



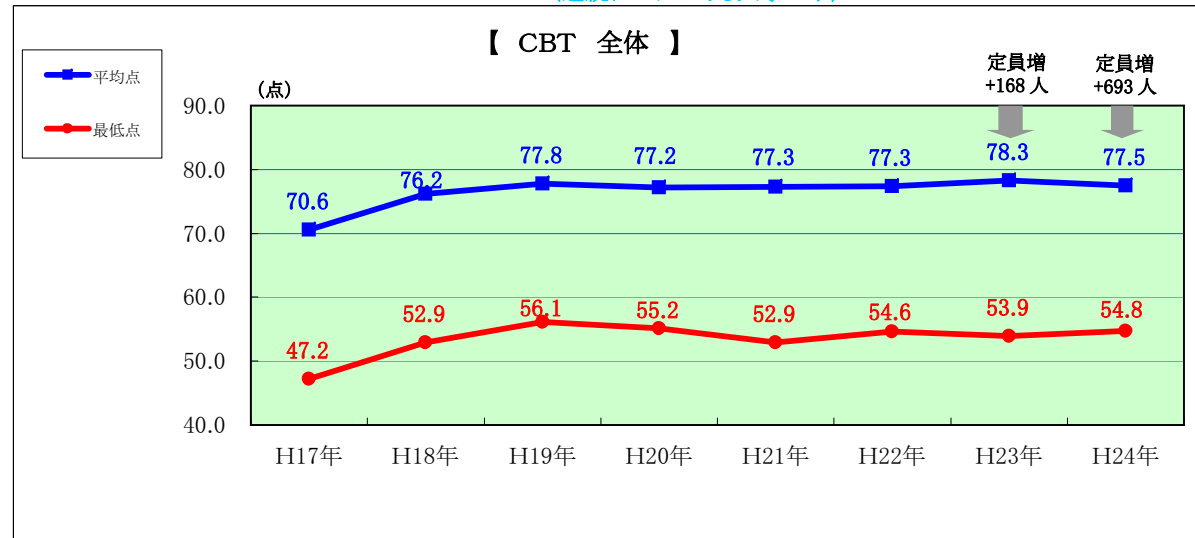
【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

【学校数】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校

(5) 共用試験(4年次学生)CBT、OSCE総点 (100点満点)

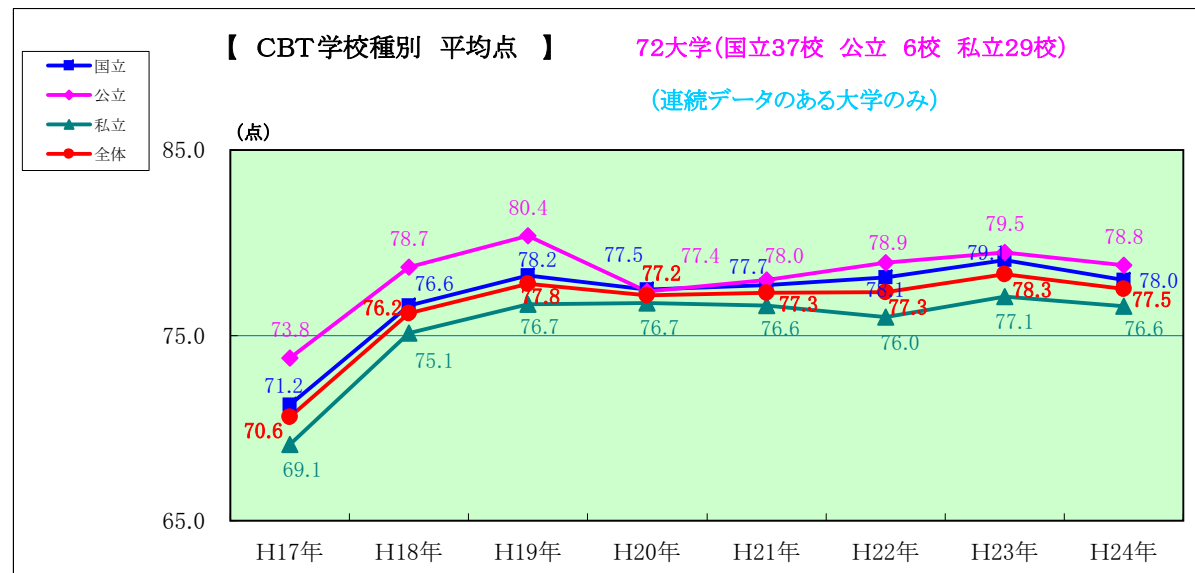
○ 共用試験CBT平均点と最低点の推移

《 72校 (国立 37校 公立 6校 私立 29校) 》 (図38)  
(連続データがある大学のみ)

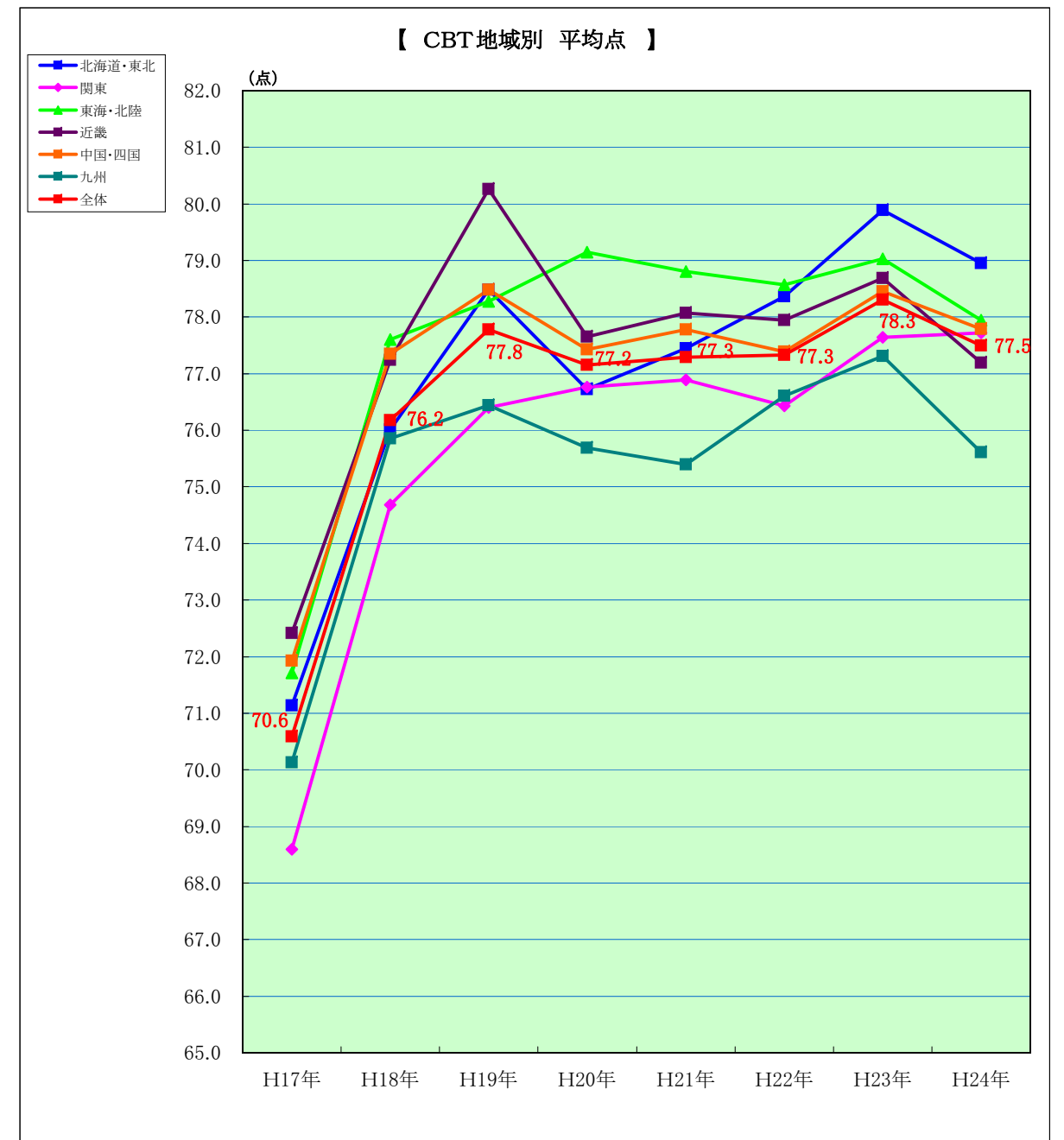


	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
学校数	72校	72校	72校	72校	72校	72校	72校	72校

(図39)



【 学校数 】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
国立	37校	37校	37校	37校	37校	37校	37校	37校
公立	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
私立	29校	29校	29校	29校	29校	29校	29校	29校



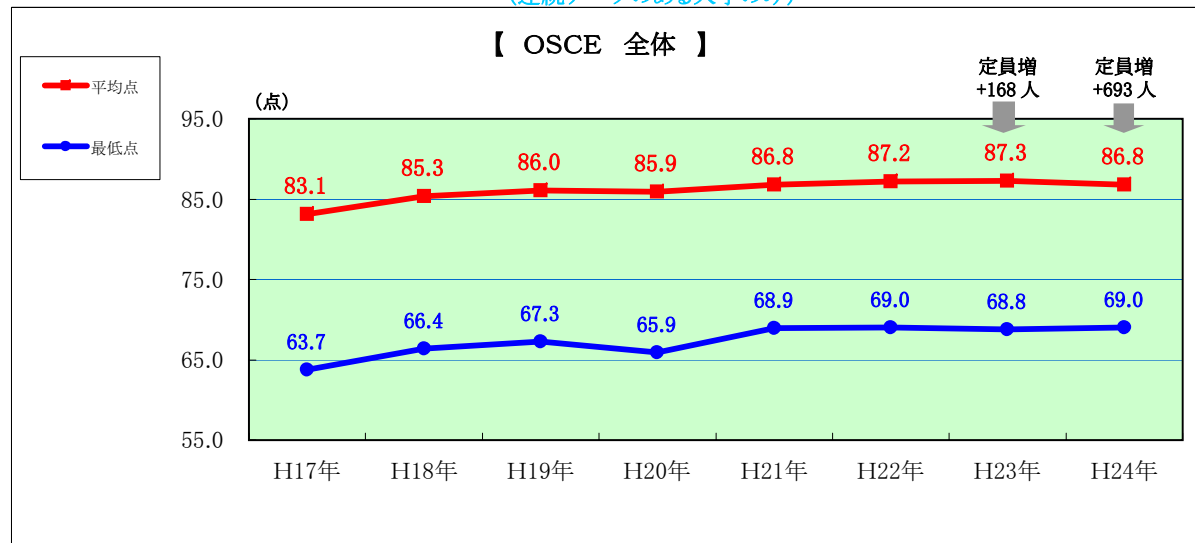
【 学校数 】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	72校	72校	72校	72校	72校	72校	72校	72校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	22校	22校	22校	22校	22校	22校	22校	22校
東海・北陸	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校
近畿	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校
中国・四国	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校
九州	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校



○ 共用試験OSCE平均点と最低点の推移

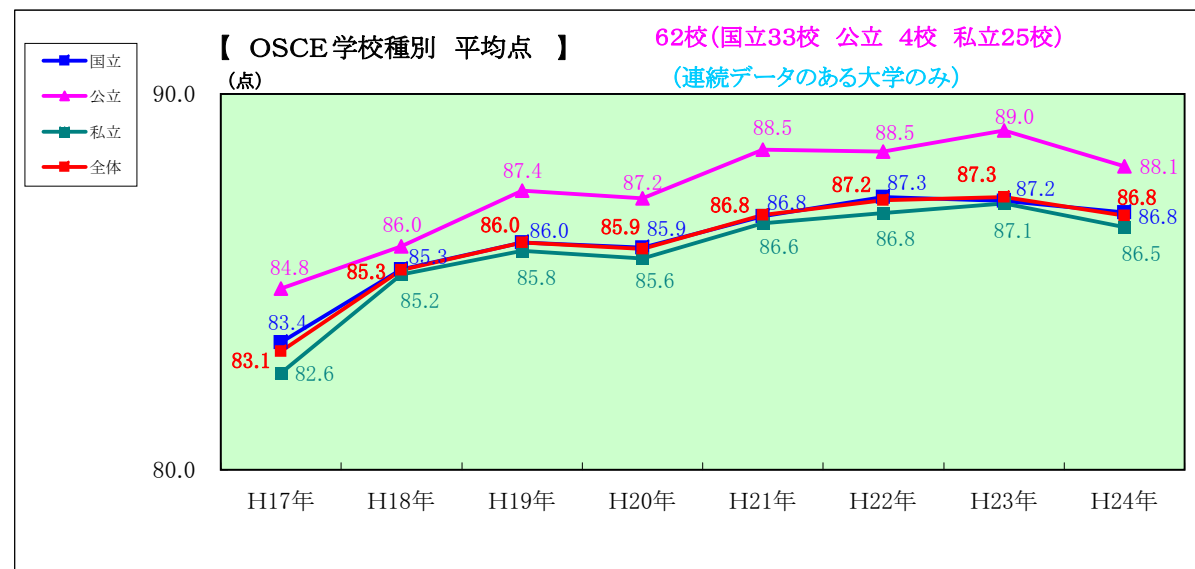
《 62校 (国立 33校 公立 4校 私立 25校) 》  
 ※ H19,H20,H21年は最低点 61校  
 (連続データのある大学のみ)

(図40)

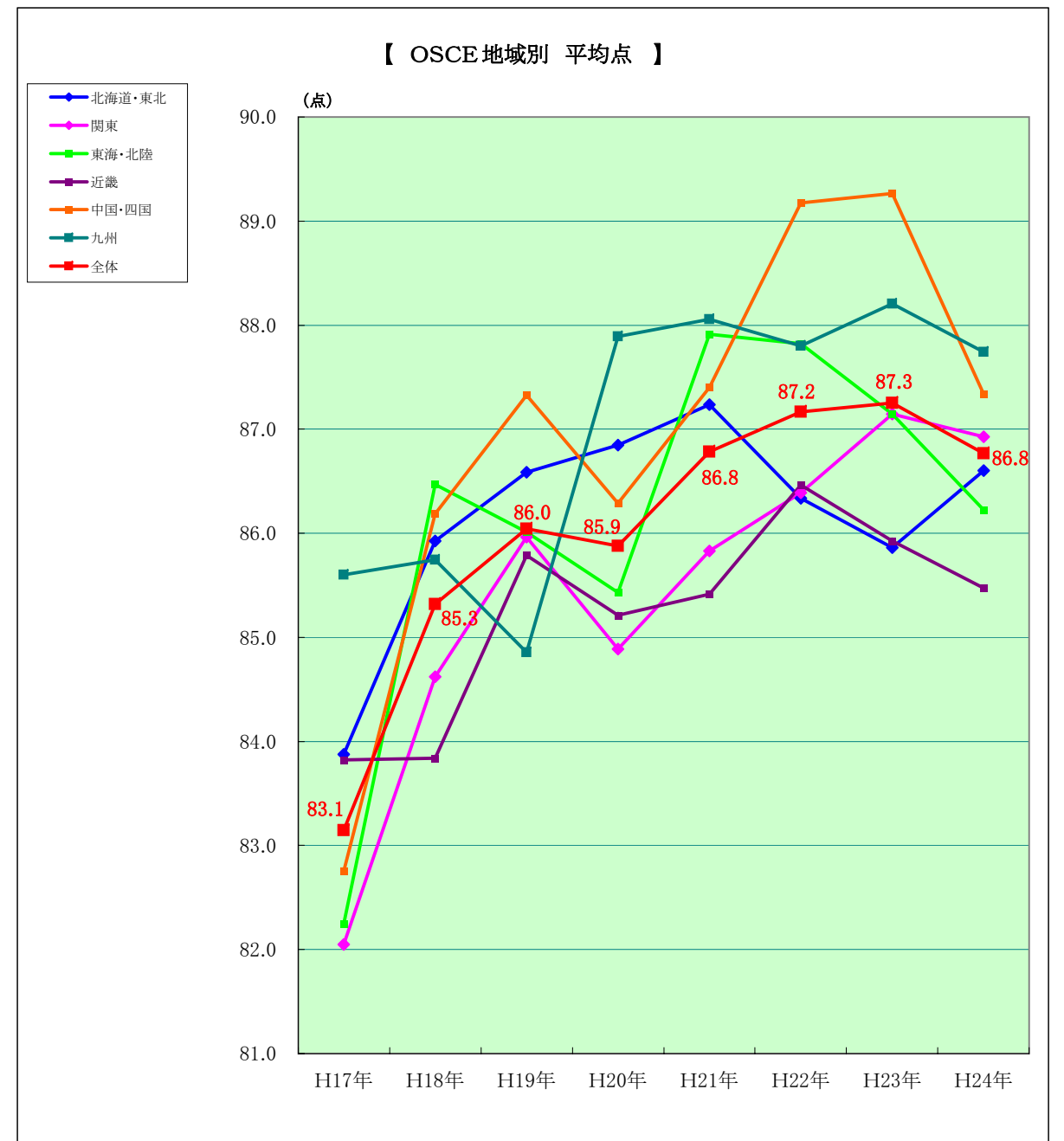


【 学校数 】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
平均点	62校	62校	62校	62校	62校	62校	62校	62校
最低点	62校	62校	61校	61校	61校	62校	62校	62校

(図41)



【 学校数 】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
平均点	国立 33校	国立 33校	国立 33校	国立 33校	国立 33校	国立 33校	国立 33校	国立 33校
	公立 4校	公立 4校	公立 4校	公立 4校	公立 4校	公立 4校	公立 4校	公立 4校
	私立 25校	私立 25校	私立 25校	私立 25校	私立 25校	私立 25校	私立 25校	私立 25校

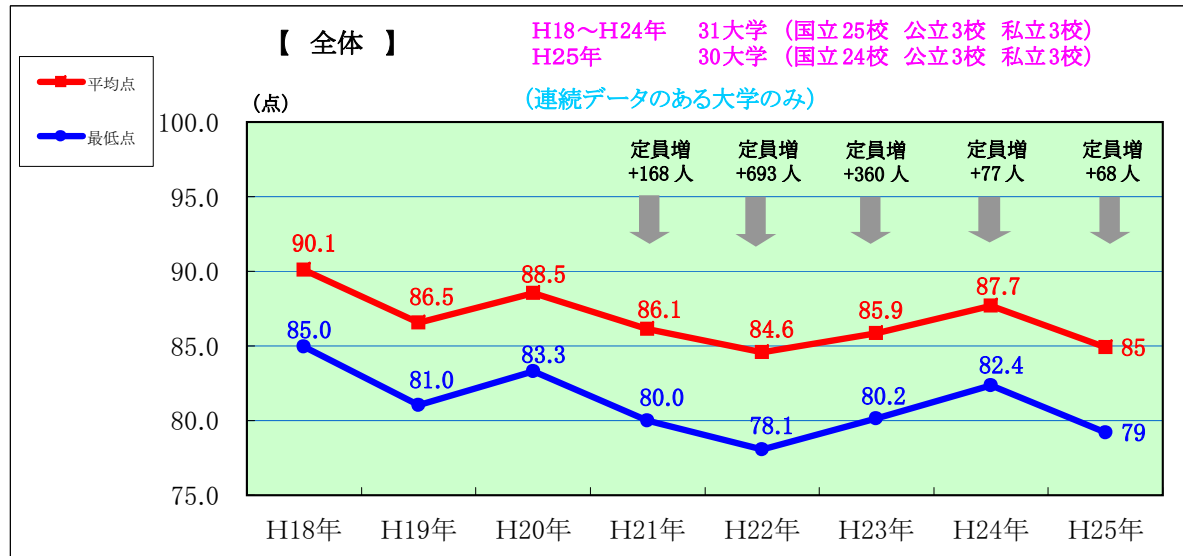


【 学校数 】	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
平均	全体 62校	全体 62校	全体 62校	全体 62校	全体 62校	全体 62校	全体 62校	全体 62校
	北海道・東北 8校	北海道・東北 8校	北海道・東北 8校	北海道・東北 8校	北海道・東北 8校	北海道・東北 8校	北海道・東北 8校	北海道・東北 8校
	関東 20校	関東 20校	関東 20校	関東 20校	関東 20校	関東 20校	関東 20校	関東 20校
	東海・北陸 9校	東海・北陸 9校	東海・北陸 9校	東海・北陸 9校	東海・北陸 9校	東海・北陸 9校	東海・北陸 9校	東海・北陸 9校
	近畿 8校	近畿 8校	近畿 8校	近畿 8校	近畿 8校	近畿 8校	近畿 8校	近畿 8校
	中国・四国 8校	中国・四国 8校	中国・四国 8校	中国・四国 8校	中国・四国 8校	中国・四国 8校	中国・四国 8校	中国・四国 8校
	九州 9校	九州 9校	九州 9校	九州 9校	九州 9校	九州 9校	九州 9校	九州 9校

(6) 就学期における成績について

1) センター試験

「前期一般選抜試験の最終合格者」のセンター試験の平均点と最低点(%)の推移 (図42)



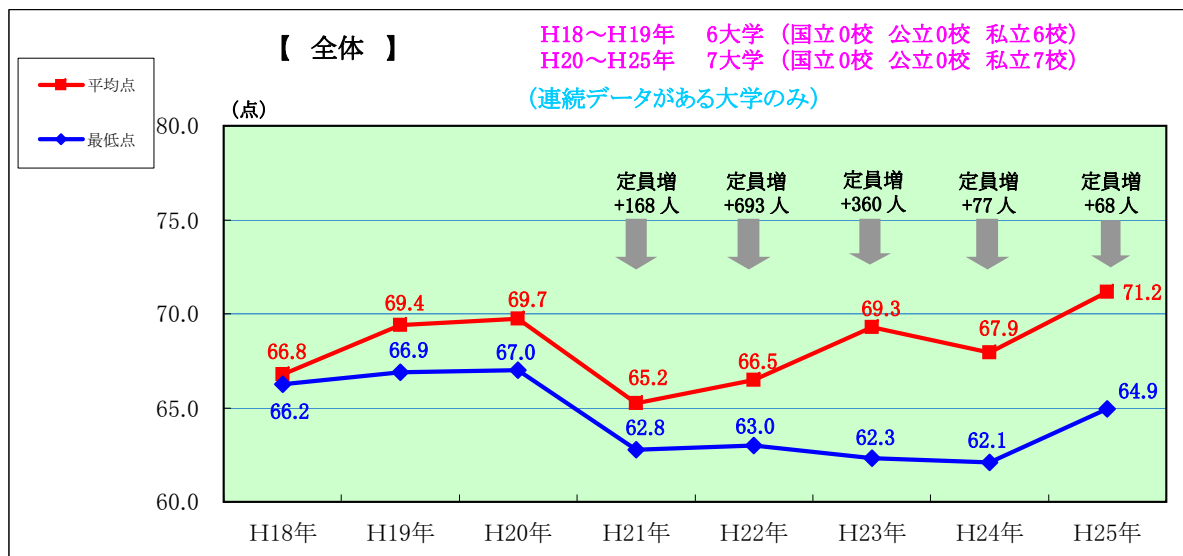
	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
学校数	31校	31校	31校	31校	31校	31校	31校	30校

※ 主要6教科の全国の全受験者の平均点

	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
平均点	66.0	61.2	62.7	61.4	56.6	61.2	64.7	58.2

2) センター試験なし (一般選抜 総合点)

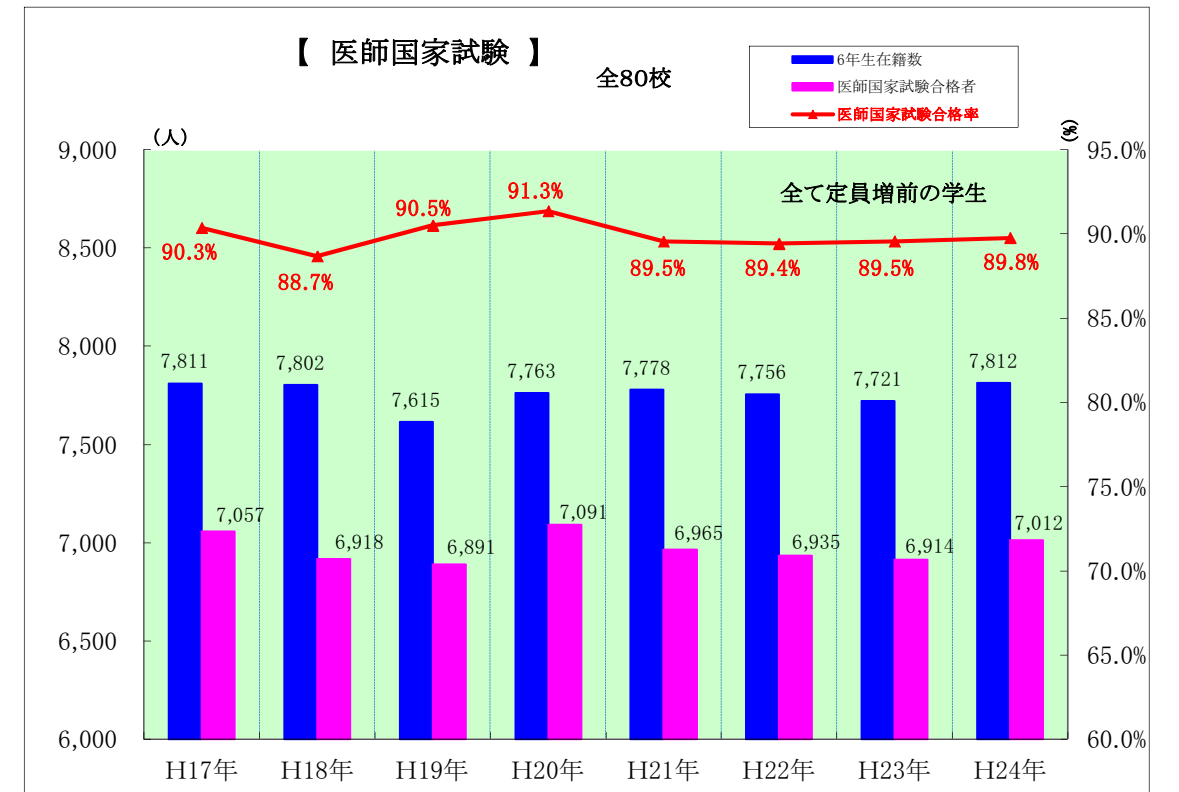
センター試験を採用していない大学の「一般入試最終合格者」の平均点と最低点(%) (図43)



	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
学校数	6校	6校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

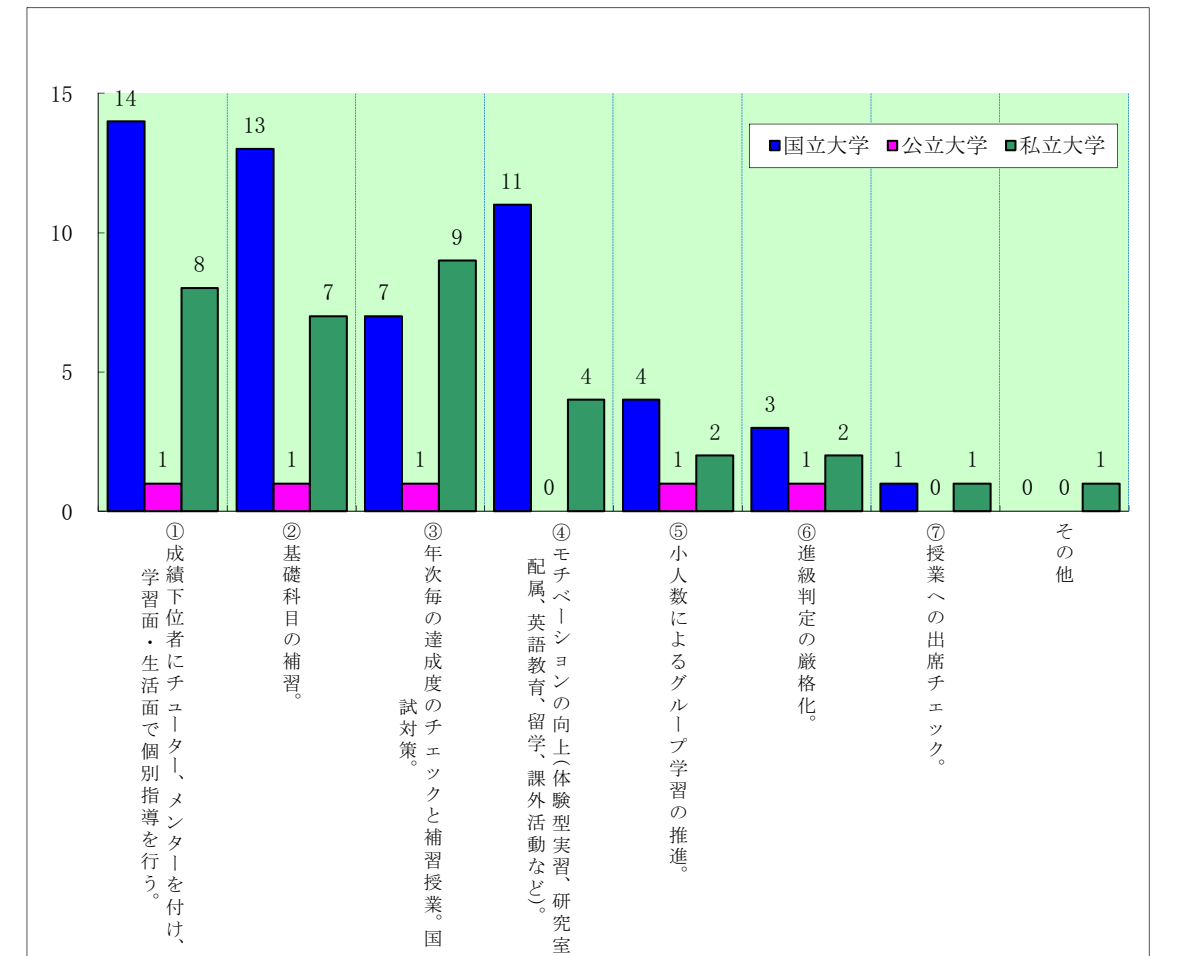
(7) 4月時点の6年次学生の在籍者数と翌年3月の医師国家試験合格者数と合格率 (図44)

(図44)



(8) 学力低下についての自由意見 (図45)

(図45)



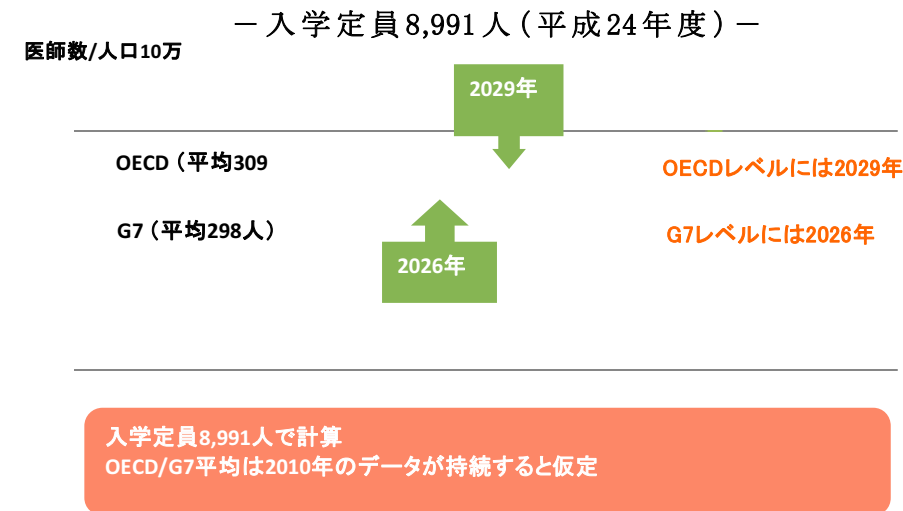
(参考資料)

○ 医学部入学定員と18歳人口の推移 (表2)

	入学定員	18歳人口	18歳人口の何人に1人が入学する	18歳人口千人当たりの入学者
S41年	3,560人	249万人	1/699人	(1.4/1,000人)
S56年 (新設医大設置)	8,280人	161万人	1/194人	(5.1/1,000人)
H19年 (削減時)	7,625人	130万人	1/170人	(5.9/1,000人)
H25年 (増員後)	9,041人	123万人	1/136人	(7.4/1,000人)
H42年 (2030年)	9,041人	* 104万人 (* H24年出生数104万人)	1/115人	(8.7/1,000人)

○ わが国の医師数の動き

(図46)



(千葉大学医学部附属病院地域医療連携部 藤田伸輔氏提供)

医学生の学力低下に関するアンケート集計表

(1) 【 在籍学生数の推移 】 ( 過去4年間 )

【学年学生数】		H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
1学年	全体					8,854	8,917	9,023	9,177
	国立					4,678	4,646	4,702	4,859
	公立					831	868	873	869
	私立					3,345	3,403	3,448	3,449
2学年	全体					8,869	9,266	9,428	9,725
	国立					4,661	4,977	5,054	5,206
	公立					814	830	855	891
	私立					3,394	3,459	3,519	3,628
3学年	全体					8,080	8,756	9,129	9,266
	国立					4,342	4,729	4,981	5,082
	公立					725	782	830	837
	私立					3,013	3,245	3,318	3,347
4学年	全体					7,998	7,988	8,673	9,003
	国立					4,284	4,254	4,650	4,921
	公立					660	704	758	805
	私立					3,054	3,030	3,265	3,277
5学年	全体					7,725	7,821	7,825	8,451
	国立					4,152	4,189	4,179	4,514
	公立					666	658	702	751
	私立					2,907	2,974	2,944	3,186
6学年	全体					8,026	7,939	8,036	8,010
	国立					4,199	4,215	4,256	4,231
	公立					658	665	655	701
	私立					3,169	3,059	3,125	3,078
総数	全体					49,552	50,687	52,114	53,632
	国立					26,316	27,010	27,822	28,813
	公立					4,354	4,507	4,673	4,854
	私立					18,882	19,170	19,619	19,965

【全体人数(再掲)】	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
1学年					8,854	8,917	9,023	9,177
2学年					8,869	9,266	9,428	9,725
3学年					8,080	8,756	9,129	9,266
4学年					7,998	7,988	8,673	9,003
5学年					7,725	7,821	7,825	8,451
6学年					8,026	7,939	8,036	8,010
総数					49,552	50,687	52,114	53,632

過去6年間の医学部入学定員の推移

【全体人数】	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
定員		7,625	7,793	8,486	8,846	8,923	8,991	9,041
増員数			168	693	360	77	68	50
増減率			2.16%	8.17%	4.07%	0.86%	0.76%	0.55%

【平成24年度(2012)の学生】の、各学年の留年者数、休学者数、退学者数

(2) 【平成24年度(2012)の学生】の、各学年留年者数

留年者 1年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	134	131	133	148	176	214	212	237
国立	56	55	65	72	85	110	105	150
公立	1	1	0	3	0	3	4	4
私立	77	75	68	73	91	101	103	83
北海道・東北	11	5	14	19	16	35	25	36
関東	56	68	46	45	57	67	77	72
東海・北陸	13	11	11	16	12	13	20	14
近畿	20	20	20	18	28	28	26	24
中国・四国	18	7	17	19	39	50	25	31
九州	16	20	25	31	24	21	39	60

留年率 1年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	2.64%	2.56%	2.62%	2.90%	3.18%	3.57%	3.54%	3.90%
国立						3.26%	3.16%	4.47%
公立						1.53%	1.97%	1.83%
私立						4.17%	4.17%	3.32%
北海道・東北						3.72%	2.96%	4.19%
関東						3.32%	3.68%	3.40%
東海・北陸						1.66%	2.54%	1.76%
近畿						4.15%	3.83%	3.49%
中国・四国						6.28%	3.07%	3.81%
九州						2.70%	4.98%	7.52%

留年対象学校数 1年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校
東海・北陸	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

留年者 2年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	289	321	312	277	341	396	441	472
国立	143	181	175	173	204	237	269	266
公立	6	0	6	2	6	9	3	2
私立	140	140	131	102	131	150	169	204
北海道・東北	51	45	52	33	55	64	53	67
関東	93	87	95	86	96	118	127	156
東海・北陸	34	54	40	46	58	65	61	58
近畿	39	36	29	32	33	43	49	42
中国・四国	33	55	53	39	49	55	69	56
九州	39	44	43	41	50	51	82	93

留年率 2年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						6.61%	7.03%	7.40%
国立						7.13%	7.56%	7.37%
公立						4.52%	1.48%	1.00%
私立						5.68%	6.72%	7.96%
北海道・東北						7.06%	5.41%	6.75%
関東						5.73%	5.98%	7.20%
東海・北陸						8.00%	7.15%	6.88%
近畿						6.36%	7.13%	5.96%
中国・四国						7.22%	8.31%	6.59%
九州						6.61%	10.25%	11.37%

留年対象学校数 2年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	52校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校
東海・北陸	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

留年者 3年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	225	256	209	256	229	227	263	277
国立	129	160	139	170	145	155	184	156
公立	4	0	0	2	3	2	4	6
私立	92	96	70	84	81	70	75	115
北海道・東北	32	34	33	50	40	38	40	53
関東	70	86	68	90	73	74	80	95
東海・北陸	38	24	14	14	18	17	22	24
近畿	26	22	10	18	18	22	19	18
中国・四国	28	47	33	31	28	31	37	43
九州	31	43	51	53	52	45	65	44

留年率 3年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						4.21%	4.49%	4.52%
国立						5.06%	5.56%	4.43%
公立						1.18%	2.11%	2.96%
私立						3.24%	3.18%	4.78%
北海道・東北						4.52%	4.32%	5.32%
関東						4.01%	4.01%	4.61%
東海・北陸						2.41%	2.86%	2.99%
近畿						3.61%	2.85%	2.70%
中国・四国						4.57%	5.10%	5.28%
九州						6.26%	8.31%	5.58%

留年対象学校数 3年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校
東海・北陸	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

留年者 4年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	231	157	200	205	195	243	242	267
国立	130	81	118	136	118	141	140	166
公立	0	1	0	0	0	0	1	0
私立	101	75	82	69	77	102	101	101
北海道・東北	41	19	35	29	33	26	29	28
関東	69	50	50	56	59	78	83	80
東海・北陸	24	23	30	17	18	20	21	29
近畿	9	4	9	22	23	28	33	35
中国・四国	43	25	47	45	41	56	38	54
九州	45	36	29	36	21	35	38	41

留年率 4年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						4.55%	4.52%	4.58%
国立						4.70%	4.64%	5.09%
公立						0.00%	0.60%	0.00%
私立						4.63%	4.64%	4.24%
北海道・東北						3.27%	3.55%	3.08%
関東						4.26%	4.55%	4.00%
東海・北陸						3.03%	3.00%	3.80%
近畿						4.33%	5.34%	5.19%
中国・四国						7.94%	5.44%	7.38%
九州						4.99%	5.44%	5.42%

留年対象学校数 4年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校
東海・北陸	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

留年者 5年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	103	83	97	104	73	89	124	94
国立	59	47	52	61	36	40	81	56
公立	2	1	1	1	1	1	1	0
私立	42	35	44	42	36	48	42	38
北海道・東北	21	13	12	21	18	3	9	13
関東	46	29	38	44	30	31	49	31
東海・北陸	17	16	19	10	10	11	10	10
近畿	10	11	16	11	6	23	22	20
中国・四国	3	5	6	10	1	6	13	3
九州	6	9	6	8	8	15	21	17

留年率 5年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						1.75%	2.38%	1.80%
国立						1.39%	2.78%	1.90%
公立						0.74%	0.70%	0.00%
私立						2.32%	1.96%	1.81%
北海道・東北						0.40%	1.16%	1.63%
関東						1.81%	2.73%	1.75%
東海・北陸						1.57%	1.54%	1.45%
近畿						3.85%	3.51%	3.32%
中国・四国						0.96%	1.96%	0.45%
九州						2.12%	3.05%	2.50%

留年対象学校数 5年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校
東海・北陸	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

留年者 6年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	325	293	249	296	268	258	273	261
国立	122	93	93	100	96	100	110	112
公立	2	1	1	0	1	1	2	1
私立	201	199	155	196	171	157	161	148
北海道・東北	49	28	24	29	29	24	26	28
関東	112	122	88	108	114	94	94	96
東海・北陸	75	46	45	53	46	38	41	32
近畿	16	18	22	34	22	33	40	23
中国・四国	43	41	41	46	34	28	31	36
九州	30	38	29	26	23	41	41	46

留年率 6年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						4.77%	5.18%	4.85%
国立						3.40%	3.75%	3.77%
公立						0.68%	1.48%	0.70%
私立						6.77%	7.32%	6.52%
北海道・東北						3.14%	3.41%	3.50%
関東						4.98%	5.25%	5.17%
東海・北陸						5.25%	5.69%	4.70%
近畿						5.23%	6.54%	3.62%
中国・四国						3.93%	4.80%	5.22%
九州						5.97%	5.56%	6.36%

留年対象学校数 6年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	53校	53校	53校	53校	53校	52校	53校	53校
国立	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校	30校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校	21校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校	18校
東海・北陸	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

(3) 【平成24年度(2012)の学生】の、各学年休学者数

休学者 1年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	35	36	39	40	47	49	66	81
国立	20	23	23	15	29	37	49	65
公立	0	0	0	1	2	1	1	1
私立	15	13	16	24	16	11	16	15
北海道・東北	5	10	8	7	8	5	8	5
関東	10	10	14	18	14	16	19	21
東海・北陸	1	3	3	3	6	3	6	7
近畿	6	4	5	7	5	5	7	8
中国・四国	8	3	3	1	4	16	16	12
九州	5	6	6	4	10	4	10	28

休学率 1年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						0.86%	1.17%	1.41%
国立						1.17%	1.58%	2.07%
公立						0.51%	0.49%	0.46%
私立						0.48%	0.68%	0.63%
北海道・東北						0.53%	0.95%	0.58%
関東						0.84%	0.96%	1.05%
東海・北陸						0.44%	0.89%	1.03%
近畿						0.73%	1.02%	1.15%
中国・四国						2.33%	2.26%	1.70%
九州						0.51%	1.28%	3.51%

休学対象学校数 1年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

休学者 2年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	84	71	69	93	77	87	113	115
国立	58	41	42	60	57	59	89	86
公立	5	0	0	1	2	1	3	1
私立	21	30	27	32	18	27	21	28
北海道・東北	8	8	8	8	8	8	8	8
関東	16	17	17	22	18	26	28	42
東海・北陸	10	13	5	8	8	13	12	12
近畿	11	9	11	15	7	11	8	11
中国・四国	7	12	7	10	14	10	20	11
九州	10	8	15	15	14	6	21	24

休学率 2年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						1.54%	1.91%	1.91%
国立						1.89%	2.68%	2.54%
公立						0.50%	1.48%	0.50%
私立						0.90%	0.88%	1.15%
北海道・東北						2.32%	2.45%	1.51%
関東						1.34%	1.40%	2.05%
東海・北陸						1.86%	1.64%	1.66%
近畿						1.66%	1.15%	1.56%
中国・四国						1.51%	2.82%	1.49%
九州						0.78%	2.63%	2.93%

休学対象学校数 2年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

休学者 3年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	45	58	58	64	59	49	56	54
国立	32	41	50	55	54	37	46	43
公立	0	0	0	1	0	1	0	0
私立	13	17	8	8	5	11	10	11
北海道・東北	15	19	26	26	17	15	11	13
関東	16	17	13	12	18	17	21	19
東海・北陸	4	4	2	4	4	7	4	6
近畿	4	3	2	1	7	5	2	2
中国・四国	4	7	8	7	4	1	6	7
九州	2	8	7	14	9	4	12	7

休学率 3年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						0.96%	1.01%	0.93%
国立						1.29%	1.48%	1.31%
公立						0.59%	0.00%	0.00%
私立						0.54%	0.45%	0.48%
北海道・東北						1.78%	1.19%	1.31%
関東						0.98%	1.12%	0.98%
東海・北陸						1.16%	0.60%	0.87%
近畿						0.82%	0.31%	0.30%
中国・四国						0.17%	0.95%	1.02%
九州						0.56%	1.53%	0.89%

休学対象学校数 3年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

休学者 4年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	56	51	68	53	61	55	51	64
国立	34	33	41	40	52	47	37	55
公立	1	1	0	0	0	0	0	0
私立	21	17	27	13	9	8	14	9
北海道・東北	8	10	11	7	10	10	9	8
関東	17	12	12	7	11	11	8	13
東海・北陸	3	7	8	4	3	5	3	8
近畿	5	1	3	8	9	5	4	8
中国・四国	9	10	23	14	13	11	19	13
九州	14	11	11	13	15	13	8	14

休学率 4年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						1.10%	1.01%	1.17%
国立						1.68%	1.31%	1.81%
公立						0.00%	0.00%	0.00%
私立						0.39%	0.68%	0.40%
北海道・東北						1.26%	1.10%	0.88%
関東						0.64%	0.47%	0.70%
東海・北陸						0.89%	0.51%	1.21%
近畿						0.78%	0.64%	1.22%
中国・四国						1.83%	3.18%	2.07%
九州						1.85%	1.14%	1.85%

休学対象学校数 4年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校



休学者 5年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	31	35	49	27	35	41	31	39
国立	25	29	36	23	25	30	25	31
公立	3	2	1	1	1	1	0	0
私立	3	4	12	3	9	10	6	8
北海道・東北	6	5	5	5	2	5	0	3
関東	2	5	17	7	8	12	13	14
東海・北陸	4	2	3	3	4	4	4	4
近畿	7	9	10	1	3	1	3	6
中国・四国	7	4	7	5	4	8	3	3
九州	5	10	7	6	14	11	8	9

休学率 5年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						0.86%	0.63%	0.80%
国立						1.12%	0.92%	1.12%
公立						0.74%	0.00%	0.00%
私立						0.51%	0.30%	0.41%
北海道・東北						0.67%	0.00%	0.38%
関東						0.74%	0.77%	0.84%
東海・北陸						0.69%	0.72%	0.69%
近畿						0.17%	0.49%	0.99%
中国・四国						1.49%	0.53%	0.52%
九州						1.56%	1.16%	1.33%

休学対象学校数 5年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

休学者 6年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	87	94	93	66	70	74	87	95
国立	66	64	62	43	39	41	55	61
公立	2	4	1	0	0	2	2	1
私立	19	26	30	23	31	31	30	33
北海道・東北	11	10	11	7	10	7	16	14
関東	17	24	23	18	20	27	25	31
東海・北陸	16	15	20	15	13	15	9	13
近畿	5	5	4	3	5	6	5	7
中国・四国	11	19	19	9	4	2	10	10
九州	27	21	16	14	18	17	22	20

休学率 6年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						1.46%	1.76%	1.88%
国立						1.49%	2.01%	2.20%
公立						1.37%	1.48%	0.70%
私立						1.43%	1.45%	1.54%
北海道・東北						0.92%	2.10%	1.75%
関東						1.54%	1.49%	1.79%
東海・北陸						2.51%	1.52%	2.26%
近畿						0.92%	0.82%	1.10%
中国・四国						0.33%	1.80%	1.70%
九州						2.47%	2.99%	2.77%

休学対象学校数 6年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

(4) 【平成24年度(2012)の学生】の、各学年退学者数

退学者 1年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	31	32	29	41	35	38	25	23
国立	7	14	11	17	12	13	13	4
公立	0	0	2	0	1	1	1	1
私立	24	18	16	24	22	24	11	18
北海道・東北	3	5	4	3	3	2	0	3
関東	14	10	12	18	15	22	13	10
東海・北陸	3	4	3	8	5	2	7	2
近畿	3	4	7	8	5	7	1	5
中国・四国	6	6	0	2	2	3	2	0
九州	2	3	3	2	5	2	2	3

退学率 1年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						0.67%	0.44%	0.40%
国立						0.41%	0.42%	0.13%
公立						0.51%	0.49%	0.46%
私立						1.04%	0.47%	0.76%
北海道・東北						0.21%	0.00%	0.35%
関東						1.16%	0.66%	0.50%
東海・北陸						0.30%	1.04%	0.29%
近畿						1.02%	0.15%	0.72%
中国・四国						0.44%	0.28%	0.00%
九州						0.26%	0.26%	0.38%

退学対象学校数 1年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

退学者 2年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	29	28	31	19	36	24	37	46
国立	10	17	11	6	18	9	17	18
公立	1	1	0	0	0	1	1	1
私立	18	10	20	13	18	14	19	27
北海道・東北	6	7	4	2	6	2	5	6
関東	12	8	12	5	10	7	17	23
東海・北陸	0	3	3	1	8	4	5	8
近畿	3	3	4	5	5	4	4	4
中国・四国	6	4	6	5	4	2	0	1
九州	2	3	2	1	3	5	6	4

退学率 2年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						0.43%	0.63%	0.76%
国立						0.29%	0.51%	0.53%
公立						0.50%	0.49%	0.50%
私立						0.77%	0.80%	1.11%
北海道・東北						0.22%	0.51%	0.60%
関東						0.36%	0.85%	1.12%
東海・北陸						0.57%	0.68%	1.11%
近畿						0.60%	0.58%	0.57%
中国・四国						0.30%	0.00%	0.14%
九州						0.65%	0.75%	0.49%

退学対象学校数 2年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

退学者 3年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	15	16	14	19	10	19	13	19
国立	5	6	3	5	5	7	4	8
公立	0	0	0	0	0	0	0	0
私立	10	10	11	14	5	12	9	11
北海道・東北	1	0	0	2	2	5	1	2
関東	9	9	8	13	5	8	7	12
東海・北陸	0	2	0	1	0	1	2	2
近畿	1	1	1	0	0	1	0	0
中国・四国	3	1	2	1	1	0	0	3
九州	1	3	3	2	2	4	3	0

退学率 3年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						0.37%	0.24%	0.33%
国立						0.24%	0.13%	0.24%
公立						0.00%	0.00%	0.00%
私立						0.58%	0.40%	0.48%
北海道・東北						0.59%	0.11%	0.20%
関東						0.46%	0.37%	0.62%
東海・北陸						0.17%	0.30%	0.29%
近畿						0.16%	0.00%	0.00%
中国・四国						0.00%	0.00%	0.44%
九州						0.56%	0.38%	0.00%

退学対象学校数 3年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

退学者 4年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	16	18	22	12	17	15	9	18
国立	11	7	11	7	8	8	3	2
公立	0	1	0	0	0	0	0	0
私立	5	10	11	5	9	7	6	16
北海道・東北	0	3	5	3	0	2	0	1
関東	4	8	8	3	7	2	6	10
東海・北陸	4	2	2	2	2	1	0	1
近畿	1	3	2	2	3	4	0	0
中国・四国	2	0	2	2	4	5	3	2
九州	5	2	3	0	1	1	0	4

退学率 4年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						0.30%	0.18%	0.33%
国立						0.29%	0.11%	0.07%
公立						0.00%	0.00%	0.00%
私立						0.34%	0.29%	0.71%
北海道・東北						0.25%	0.00%	0.11%
関東						0.12%	0.35%	0.53%
東海・北陸						0.18%	0.00%	0.15%
近畿						0.63%	0.00%	0.00%
中国・四国						0.83%	0.50%	0.32%
九州						0.14%	0.00%	0.53%

退学対象学校数 4年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

退学者 5年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	7	3	4	6	7	6	9	9
国立	1	1	2	2	3	3	0	3
公立	1	0	0	0	0	0	1	0
私立	5	2	2	4	4	3	8	6
北海道・東北	2	0	1	1	1	2	1	2
関東	4	2	2	2	1	2	4	4
東海・北陸	0	0	0	0	1	1	0	0
近畿	1	1	1	3	3	1	1	1
中国・四国	0	0	0	0	0	0	1	0
九州	0	0	0	0	1	0	2	2

退学率 5年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						0.13%	0.18%	0.18%
国立						0.11%	0.00%	0.11%
公立						0.00%	0.70%	0.00%
私立						0.15%	0.40%	0.30%
北海道・東北						0.27%	0.13%	0.25%
関東						0.12%	0.24%	0.24%
東海・北陸						0.17%	0.00%	0.00%
近畿						0.17%	0.16%	0.16%
中国・四国						0.00%	0.18%	0.00%
九州						0.00%	0.29%	0.29%

退学対象学校数 5年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	49校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

退学者 6年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	13	10	9	15	11	23	10	12
国立	5	2	1	8	0	9	4	2
公立	0	0	0	0	0	0	0	0
私立	8	8	8	7	11	14	6	10
北海道・東北	1	0	1	4	0	0	4	2
関東	7	7	7	7	10	13	3	4
東海・北陸	2	1	0	3	0	1	0	1
近畿	0	1	1	0	0	4	2	1
中国・四国	1	0	0	0	0	1	1	0
九州	2	1	0	1	1	4	0	4

退学率 6年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体						0.45%	0.20%	0.24%
国立						0.33%	0.15%	0.07%
公立						0.00%	0.00%	0.00%
私立						0.64%	0.29%	0.47%
北海道・東北						0.00%	0.52%	0.25%
関東						0.74%	0.18%	0.23%
東海・北陸						0.17%	0.00%	0.17%
近畿						0.62%	0.33%	0.16%
中国・四国						0.16%	0.18%	0.00%
九州						0.58%	0.00%	0.55%

退学対象学校数 6年生	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校	50校
国立	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校	28校
公立	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	2校
私立	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
関東	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校	17校
東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
近畿	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
九州	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校	7校

(5) 共用試験(4年次学生)CBT、OSCE総点 (100点満点)

○ 共用試験CBT平均点と最低点の推移

		H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	平均点	70.6	76.2	77.8	77.2	77.3	77.3	78.3	77.5
	最低点	47.2	52.9	56.1	55.2	52.9	54.6	53.9	54.8
国立	平均点	71.2	76.6	78.2	77.5	77.7	78.1	79.1	78.0
	最低点	46.5	52.1	55.8	54.6	53.2	54.5	55.5	54.1
公立	平均点	73.8	78.7	80.4	77.4	78.0	78.9	79.5	78.8
	最低点	50.6	58.1	60.1	57.9	53.6	60.7	55.5	59.1
私立	平均点	69.1	75.1	76.7	76.7	76.6	76.0	77.1	76.6
	最低点	47.5	52.9	55.8	55.3	52.5	53.6	51.6	54.7
北海道・東北	平均点	71.1	76.0	78.5	76.7	77.5	78.4	79.9	78.9
	最低点	51.1	52.4	57.3	55.2	53.4	53.8	55.8	54.6
関東	平均点	68.6	74.7	76.4	76.8	76.9	76.4	77.6	77.7
	最低点	46.0	52.6	54.8	54.0	53.8	54.1	52.7	55.7
東海・北陸	平均点	71.7	77.6	78.3	79.2	78.8	78.6	79.0	77.9
	最低点	48.6	54.6	57.2	58.0	55.2	56.7	54.1	56.9
近畿	平均点	72.4	77.2	80.3	77.7	78.1	77.9	78.7	77.2
	最低点	46.1	53.1	55.4	55.9	50.9	57.3	51.3	54.7
中国・四国	平均点	71.9	77.4	78.5	77.4	77.8	77.4	78.5	77.8
	最低点	48.5	52.6	58.4	55.2	53.7	51.8	57.4	54.1
九州	平均点	70.1	75.9	76.4	75.7	75.4	76.6	77.3	75.6
	最低点	45.7	52.6	55.8	54.0	50.3	54.4	54.4	51.9

【 学校数 】		H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
平均	全体	72校	72校	72校	72校	72校	72校	72校	72校
	国立	37校	37校	37校	37校	37校	37校	37校	37校
	公立	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
	私立	29校	29校	29校	29校	29校	29校	29校	29校
	北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
	関東	22校	22校	22校	22校	22校	22校	22校	22校
	東海・北陸	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校
	近畿	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校
	中国・四国	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校
	九州	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校
最低	全体	72校	72校	72校	72校	72校	72校	72校	72校
	国立	37校	37校	37校	37校	37校	37校	37校	37校
	公立	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
	私立	29校	29校	29校	29校	29校	29校	29校	29校
	北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
	関東	22校	22校	22校	22校	22校	22校	22校	22校
	東海・北陸	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校
	近畿	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校
	中国・四国	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校	10校
	九州	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校	11校

○ 共用試験CSCE平均点と最低点の推移

		H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	平均点	83.1	85.3	86.0	85.9	86.8	87.2	87.3	86.8
	最低点	63.7	66.4	67.3	65.9	68.9	69.0	68.8	69.0
国立	平均点	83.4	85.3	86.0	85.9	86.8	87.3	87.2	86.8
	最低点	62.9	65.9	66.7	67.5	68.6	68.5	67.4	67.7
公立	平均点	84.8	86.0	87.4	87.2	88.5	88.5	89.0	88.1
	最低点	65.1	62.4	74.5	49.5	75.6	72.1	69.7	74.5
私立	平均点	82.6	85.2	85.8	85.6	86.6	86.8	87.1	86.5
	最低点	64.7	67.6	67.2	66.6	68.3	69.3	70.4	69.9
北海道・東北	平均点	83.9	85.9	86.6	86.9	87.2	86.3	85.9	86.6
	最低点	64.4	66.3	71.6	61.8	68.6	69.9	60.9	70.0
関東	平均点	82.1	84.6	86.0	84.9	85.8	86.4	87.1	86.9
	最低点	64.9	68.1	68.8	68.0	68.6	67.7	69.5	70.1
東海・北陸	平均点	82.2	86.5	86.0	85.4	87.9	87.8	87.1	86.2
	最低点	59.1	70.7	66.9	67.8	71.4	71.6	70.6	66.4
近畿	平均点	83.8	83.8	85.8	85.2	85.4	86.5	85.9	85.5
	最低点	64.7	60.6	64.1	58.0	66.9	67.1	66.0	60.0
中国・四国	平均点	82.8	86.2	87.3	86.3	87.4	89.2	89.3	87.3
	最低点	58.6	64.8	66.7	64.8	66.8	67.9	72.7	72.6
九州	平均点	85.6	85.7	84.9	87.9	88.1	87.8	88.2	87.7
	最低点	68.9	64.9	64.3	70.8	71.4	71.3	71.3	73.1

【 学校数 】		H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
平均	全体	62校	62校	62校	62校	62校	62校	62校	62校
	国立	33校	33校	33校	33校	33校	33校	33校	33校
	公立	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校
	私立	25校	25校	25校	25校	25校	25校	25校	25校
	北海道・東北	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
	関東	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
	東海・北陸	9校	9校	9校	9校	9校	9校	9校	9校
	近畿	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
	中国・四国	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
	九州	9校	9校	9校	9校	9校	9校	9校	9校
最低	全体	62校	62校	61校	61校	61校	62校	62校	62校
	国立	33校	33校	33校	32校	32校	33校	33校	33校
	公立	4校	4校	3校	4校	4校	4校	4校	4校
	私立	25校	25校	25校	25校	25校	25校	25校	25校
	北海道・東北	8校	8校	7校	7校	7校	8校	8校	8校
	関東	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校	20校
	東海・北陸	9校	9校	9校	9校	9校	9校	9校	9校
	近畿	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
	中国・四国	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校	8校
	九州	9校	9校	9校	9校	9校	9校	9校	9校

(6) 就学期における成績について

1) センター試験

		H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
全体	平均点	90.1	86.5	88.5	86.1	84.6	85.9	87.7	85
	最低点	85.0	81.0	83.3	80.0	78.1	80.2	82.4	79
国立	平均点	89.8	86.3	88.4	86.0	84.0	85.7	87.0	85
	最低点	84.4	80.4	82.7	79.5	77.1	79.9	81.6	79
公立	平均点	89.5	85.4	87.4	84.4	84.8	90.5	91.5	87
	最低点	82.4	78.5	81.2	76.7	77.0	82.8	84.0	80
私立	平均点	92.8	90.1	91.2	88.8	89.2	82.1	90.0	85
	最低点	91.8	89.0	90.2	87.7	87.6	79.6	87.3	84
北海道・東北	平均点	88.4	85.4	87.4	83.8	82.3	82.6	82.9	82
	最低点	87.8	83.2	86.4	84.3	83.3	78.9	84.9	80
関東	平均点	92.5	89.1	90.8	89.3	88.3	85.1	91.1	86
	最低点	87.8	83.2	86.4	84.3	83.3	78.9	84.9	80
東海・北陸	平均点	89.9	86.2	88.4	85.9	84.3	88.3	89.4	85
	最低点	84.4	80.1	83.2	80.7	77.4	81.7	84.7	79
近畿	平均点	92.3	88.8	90.1	88.0	87.4	88.9	90.8	88
	最低点	87.8	83.5	84.6	81.1	79.7	83.7	85.5	82
中国・四国	平均点	88.8	85.3	87.4	85.0	83.3	84.7	86.1	84
	最低点	83.9	80.6	82.9	79.7	77.7	79.7	80.2	78
九州	平均点	89.4	85.4	88.0	85.5	82.9	85.1	86.5	83
	最低点	83.6	79.0	81.0	78.2	75.8	78.4	80.7	79

【 学校数 】		H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
平均点	全体	31校	31校	31校	31校	31校	31校	31校	30校
	国立	25校	25校	25校	25校	25校	25校	25校	24校
	公立	3校	3校	3校	3校	3校	3校	3校	3校
	私立	3校	3校	3校	3校	3校	3校	3校	3校
	北海道・東北	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校
	関東	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校
	東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
	近畿	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校
	中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
	九州	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校
最低点	全体	31校	31校	31校	31校	31校	31校	31校	30校
	国立	25校	25校	25校	25校	25校	25校	25校	24校
	公立	3校	3校	3校	3校	3校	3校	3校	3校
	私立	3校	3校	3校	3校	3校	3校	3校	3校
	北海道・東北	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校
	関東	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校
	東海・北陸	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
	近畿	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校
	中国・四国	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
	九州	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校	5校

2) センター試験なし（一般選抜 総合点）

		H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
全体	平均点	66.8	69.4	69.7	65.2	66.5	69.3	67.9	71.2
	最低点	66.2	66.9	67.0	62.8	63.0	62.3	62.1	64.9
国立	平均点								
	最低点								
公立	平均点								
	最低点								
私立	平均点	66.8	69.4	69.7	65.2	66.5	69.3	67.9	71.2
	最低点	66.2	66.9	67.0	62.8	63.0	62.3	62.1	64.9
北海道・東北	平均点								
	最低点								
関東	平均点	64.3	67.0	66.2	61.2	61.3	66.3	66.2	66.9
	最低点	64.3	64.1	64.4	59.8	59.3	57.9	59.7	60.6
東海・北陸	平均点	69.1	68.8	75.1	65.6	67.9	65.1	58.7	64.2
	最低点	62.8	60.8	69.8	60.4	60.2	56.7	50.4	55.4
近畿	平均点			69.9	68.7	75.3	79.1	74.8	78.5
	最低点	73.0	70.8	65.8	65.5	70.5	75.5	71.3	75.0
中国・四国	平均点								
	最低点								
九州	平均点	74.2	79.9	78.3	77.4	76.8	75.6	77.4	87.8
	最低点	68.9	77.5	75.7	74.6	73.3	72.7	74.2	81.9

【 学校数 】		H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
平均点	全体	6校	6校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
	国立	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校
	公立	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校
	私立	6校	6校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
	北海道・東北	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校
	関東	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校	4校
	東海・北陸	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校
	近畿	0校	0校	1校	1校	1校	1校	1校	1校
	中国・四国	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校
	九州	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校
最低点	全体	6校	6校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
	国立	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校
	公立	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校
	私立	6校	6校	7校	7校	7校	7校	7校	7校
	北海道・東北	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校
	関東	3校	3校	4校	4校	4校	4校	4校	4校
	東海・北陸	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校
	近畿	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校
	中国・四国	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校
	九州	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校	1校

(7) 4月時点の6年次学生の在籍者数と翌年3月の医師国家試験合格者数と合格率

6年在籍数	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	7,811	7,802	7,615	7,763	7,778	7,756	7,721	7,812
国立	4,193	4,102	4,084	4,133	4,118	4,093	4,115	4,133
公立	640	671	633	664	640	658	665	654
私立	2,978	3,029	2,898	2,966	3,020	3,005	2,941	3,025
北海道・東北	795	764	762	780	774	763	764	778
関東	2,706	2,747	2,682	2,686	2,770	2,744	2,706	2,788
東海・北陸	1,035	1,008	1,018	998	1,012	962	1,003	968
近畿	1,146	1,153	1,132	1,157	1,162	1,169	1,163	1,170
中国・四国	979	980	952	998	974	1,019	933	972
九州	1,150	1,150	1,069	1,144	1,086	1,099	1,152	1,136

国試合格者	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	7,057	6,918	6,891	7,091	6,965	6,935	6,914	7,012
国立	3,867	3,785	3,771	3,852	3,784	3,724	3,759	3,779
公立	604	635	610	640	611	613	626	628
私立	2,586	2,498	2,510	2,599	2,570	2,598	2,529	2,605
北海道・東北	735	717	715	736	713	694	679	701
関東	2,482	2,414	2,403	2,452	2,448	2,448	2,408	2,510
東海・北陸	916	886	911	889	908	895	914	886
近畿	1,063	1,041	1,034	1,071	1,056	1,052	1,069	1,065
中国・四国	849	864	851	911	870	893	840	848
九州	1,012	996	977	1,032	970	953	1,004	1,002

国試合格率	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
全体	90.3%	88.7%	90.5%	91.3%	89.5%	89.4%	89.5%	89.8%
国立	92.2%	92.3%	92.3%	93.2%	91.9%	91.0%	91.3%	91.4%
公立	94.4%	94.6%	96.4%	96.4%	95.5%	93.2%	94.1%	96.0%
私立	86.8%	82.5%	86.6%	87.6%	85.1%	86.5%	86.0%	86.1%
北海道・東北	92.5%	93.8%	93.8%	94.4%	92.1%	91.0%	88.9%	90.1%
関東	91.7%	87.9%	89.6%	91.3%	88.4%	89.2%	89.0%	90.0%
東海・北陸	88.5%	87.9%	89.5%	89.1%	89.7%	93.0%	91.1%	91.5%
近畿	92.8%	90.3%	91.3%	92.6%	90.9%	90.0%	91.9%	91.0%
中国・四国	86.7%	88.2%	89.4%	91.3%	89.3%	87.6%	90.0%	87.2%
九州	88.0%	86.6%	91.4%	90.2%	89.3%	86.7%	87.2%	88.2%

全体	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
6年生在籍数	7,811	7,802	7,615	7,763	7,778	7,756	7,721	7,812
医師国家試験合格者	7,057	6,918	6,891	7,091	6,965	6,935	6,914	7,012
医師国家試験合格率	90.3%	88.7%	90.5%	91.3%	89.5%	89.4%	89.5%	89.8%

(8) 学力低下についての自由意見

【 カテゴリー化一覧表 】

	【 国立大学 】	【 公立大学 】	【 私立大学 】
①成績下位者にチューター、メンターを付け、学習面・生活面で個別指導を行う。	14	1	8
②基礎科目の補習。	13	1	7
③年次毎の達成度のチェックと補習授業。国試対策。	7	1	9
④モチベーションの向上(体験型実習、研究室配属、英語教育、留学、課外活動)	11	0	4
⑤小人数によるグループ学習の推進。	4	1	2
⑥進級判定の厳格化。	3	1	2
⑦授業への出席チェック。	1	0	1
その他	0	0	1
回答記入校	28校	3校	18校

## 学力低下についての自由意見

### 【 カテゴリー 】

- ① 成績下位者にチューター、メンターを付け、学習面・生活面で個別指導を行う。 (23/49大学)
- ② 基礎科目の補習。 (21/49大学)
- ③ 各年次毎の達成度のチェックと補習授業。国試対策。 (17/49大学)
- ④ モチベーションの向上(体験型実習、研究室配属、英語教育、留学、課外活動など)。 (15/49大学)
- ⑤ 小人数によるグループ学習の推進。 (7/49大学)
- ⑥ 進級判定の厳格化。 (6/49大学)
- ⑦ 授業への出席チェック。 (2/49大学)

学校種別	カテゴリー	記述欄
国立	④	少子化や教育格差など、医学部入試の背景が変化してきている中で、学力低下の内容とその理由は多様であると推察され、継続的で体系的な研究が必要である。医学部で留年者や退学者がこれまで以上に増えることが望ましくないのであれば、入学後のリメディアル教育を充実させると共に、全員が学習すべきコアカリキュラムの範囲と深さをさらに吟味して減らす必要があるだろう。一方、診療参加型臨床実習や研究室配属を含む体験型学習の質の向上、医学英語教育の拡充、国内外への留学を含む選択科目の拡充などにより、医師や医学研究者としての専門的で多面的な学力の基盤づくりにこれまで以上に注力することが求められており、そのような改革が「学力低下でついて来れない学生」を能動的に学ばせる有効な手段になる可能性があると考えます。
国立	②	・医学教育に必要な予備知識を身につけさせるため、リメディアル科目の自然科学入門(物理・生物・化学)を入学直後の4月～5月に開講している。 ・第1・2学年にグループ担任、各学年に学年担任を置き、きめ細やかな修学指導を行っている。
国立	①②③⑤	問題基盤型学習や少人数討議型学習を導入し教育効果の向上に努めており、学力や就学に関して不安を抱えている学生にはチューターやメンターをつけてフォローアップをしている。また国家試験対策の授業・指導も行っており、国試対策検討委員会が中心となって学力判定のための模試等も実施している。また進級判定・卒業判定の基準を厳格化することにより、基礎的な学力の向上にも努めている。
国立	③	特に今のところ、学力低下を強くは感じていないので、対策は施してはいませんが、卒業試験に関しては、内容、形式をより国家試験に近いものにすべく、作問に関するFDを昨年から行っている。
国立	①③⑤	■問題基盤型学習や少人数討議型学習を導入している ■学業不振学生に対して個別面談を実施している ■進級判定を厳格化している
国立	①②③	医学部学生がカリキュラムをこなす事が出来ず、試験や実習における評価も低い事を一括して医学生の学力低下と呼んでいるが、実際に個々の学生を見た場合には様々な要因が関与しているので、まずそれぞれの学生の学習を困難にしている要因を見極めて、それに対して適切な処方箋を出す必要がある。具体的な要因としては1. 精神的な問題により学習ができない状態にある場合2. 自分の適性と医学部での教育の間に齟齬を感じて学習意欲が低下している場合3. 部活動など他の興味の対象に時間を取られているために学習のための時間が取れない場合4. 高校までの学習と大学入学後の教育の形式に落差があり、必要とされる学び方が身につけていない場合5. 高校までの学習に不十分な点があり医学部進学後の教育についていけない場合などが挙げられる。これらの内、狭義の学力低下にあてはまるのは5の場合であるが、実際に学生が学習に対して不適応となっている場合に5が原因であることはそれほど多くはないのではないかと考えられる。それぞれの学生についてまず1の可能性を除外し、2と3の場合には適性を考えた進路指導・生活指導などを優先する。4についてはチューター制度などによる個別の問題の抽出と対策の提示が必要である。5については入学後の早い時期での達成度のチェックと、それを基にした補習授業の実施などが対応策として考えられる。大学入学直後の時期は学習に対する意欲が高い時期なので、その時期に合わせて5の問題の有無のスクリーニングを行うのが効果的であろう。また最近の学生の傾向として、同学年の横のつながりが弱く、お互いに助け合いながら学習を進めていく、という意識とそれを実行するためのノウハウを持っていない事が多い。そのために学年の中で情報がいきわたらず、孤立化しているために学習の効率が上がらず意欲も低下するという悪循環に陥っている場合もある。このような学生を減らすには学年全体が一緒に行動するような機会(基礎系の実習など)にグループ学習を推奨し、学生間のネットワークが自然と形成されるようなしくみも取り入れるべきである。同様に学生間の縦のつながりを形成するには上の学年の学生をチューターとして下の学年の実習に参加させることも可能性として考えられる。
国立	①③④	学力低下に対しては、何とか医学に対するモチベーションを高めることがもつとも重要であると考えている。そのため、成績不振のため進級できなかったすべての学年の学生を毎月1回集めて、学務委員会と総合医学教育センターが中心となって医学の魅力、心音・呼吸音シミュレータによる聴診実習、救命救急訓練実習、医師国家試験対策、米国医師国家試験対策、神経生理学の魅力、解剖学の魅力など多彩なテーマについて講義や実習を行っている。学生にとっては思いがけない医学の魅力に気づくことが多く、評価は高い。1年間の留年のあと進級する学生が多い。新潟大学医学科では進級できなかった生徒全員に対して、学務係と総合医学教育センターの教員が面談を行っている。面談により精神的な不調が原因で学力が低下していると思われる学生に対しては総合医学教育センターの精神科医が、定期的に面談を繰り返すようにしている。必要に応じて大学の健康管理センターの医師に紹介したり、専門医に紹介したりして学生の精神科的疾患の治療を行っている。薬物療法により寛解がえられたような学生でも放置せずに総合医学教育センターの精神科医が定期的にフォローしている。



【 カテゴリー 】

- ① 成績下位者にチューター、メンターを付け、学習面・生活面で個別指導を行う。(23/49大学)
- ② 基礎科目の補習。(21/49大学)
- ③ 各年次毎の達成度のチェックと補習授業。国試対策。(17/49大学)
- ④モチベーションの向上(体験型実習、研究室配属、英語教育、留学、課外活動など)。(15/49大学)
- ⑤ 小人数によるグループ学習の推進。(7/49大学)
- ⑥ 進級判定の厳格化。(6/49大学)
- ⑦ 授業への出席チェック。(2/49大学)

学校種別	カテゴリー	記述欄
国立	①④⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高学力を有する学生の確保に向けた入試改革</li> <li>・e-Learning教育の導入</li> <li>・全ての学年で、年度当初に「新学年ガイダンス」を実施</li> <li>・新学年ガイダンスにおいて、「今すぐ、変える必要のある勉強方法」の講義を実施</li> <li>・出席調査の厳格化</li> <li>・CBTの下位5名については、チューター(准教授・講師)をつけて指導</li> <li>・モチベーションを高めるために、グループ担任制度(1～6年にわたって、各学年3名程度、計15～18名のグループ)を設け、年に2回、懇談会を開催。下級生にとっては将来の見通しがたち、上級生にとっては、振り返りの機会となる。</li> <li>・CBTの合格点を60点以上から偏差値45以上に変更</li> </ul>
国立	①②	<p>本学においても成績不振者(特に教養教育科目)が自立つため、教務委員による成績不振学生の抽出及び個別面談を実施している。さらに、学習方法が分からず授業について行けない学生向けに学習スキルコーチングを実施している。これは、教養教育科目限定で上級学年の学部生が1・2年次の学生を対象に週1回程度実施しているものである。</p>
国立	②④	<p>①学力低下は明らかですので、対策の基本は学びに対する動機付けと考えます。今までも行っているアーリーエクスボージャーのさらなる内容の充実、学生への学力評価方法の説明、BSL期間中のミニ評価テストの実施(形成的評価のみ)が考えられます。</p> <p>②教員の教育へのさらなる動機付けも重要と考えております。教育実績が研究実績と同等に評価されるシステム作りをしないと学内全体の学びにたいする動機付けは改善しないと予想します。</p>
国立	①②	<p>本学では、学力低下を防ぐため、学生支援の一環として、「医学科リメディアル教育システム」を確立させている。学生等から修学面の相談・希望があった場合、科目担当教員がその科目の基礎的事項などを補完教育し、修学面の支援を行っている。</p>
国立	①④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留年生に対する個別指導を行っている。</li> <li>・CBT成績不良者(下位10名)に対して、教員による組織的指導を行っている。</li> </ul>
国立	④⑥	<p>1)学内の試験を厳格な基準で行い、より一層の自己学習を促す。</p> <p>2)自主的な学習への意欲を高める試み(研究者志向の学生の集まりである学生研究会へのサポートなど)を継続する。</p> <p>3)入試方法の見直し等を継続的に行う。</p>
国立	①③④	<p>1.試験後に個人成績評価の解析結果をフィードバック(成績分布図、順位、標準偏差など)</p> <p>2.留年者、成績不良者に対するメンタリング</p> <p>3.成績優秀者表彰、臨床技能優秀学生認定制度などによる学習への動機付け</p> <p>4.ラーニングcommons(グループ学習室)の整備と共同学習の奨励</p> <p>5.第6学年次の医師国家試験に向けての学内模試(クラークシップ総括試験、国家試験準備試験と称し、7月と12月に実施)</p> <p>6.卒業試験での解説講義の実施</p>
国立	②	<p>医学は物理学・化学・生物学などの自然科学に立脚する総合的な学問であるため、医学を正確に学ぶにはこれらの自然科学系の学問の習得が必須である。一方、高等学校におけるカリキュラム編成上の理由で、あるいは大学入試試験との関係で、これら3教科のうちいずれか1教科を十分に履修していない学生が存在する。そこで本学ではこのような学生を支援するため、未履修のまたは履修が十分でない教科について、希望者に第1学年前期に集中的(90分×15コマ)に高校履修レベルの講義をしている(授業科目名;自然科学入門)。</p>
国立	①	<p>在学中の学力低下(多くはモチベーションの問題や、医師になる意義が見つけられないなどの理由による)については、個別面談による対応を行っている。</p>
国立	④	<p>本学では、学力低下というよりも意識の低下の問題であると捉えており、専門意識の早期確立を狙った内容の講義を実施することがその対策になると考えている。</p>
国立	④	<p>本学では、医学部生の学力が低下している状況は特に認められないが、勉学意欲の低下やメンタル面での問題を抱える学生が増え、留年者の増加傾向が見受けられる。これらの学生に対しては、個別面談の実施等で対応している。</p>

【 カテゴリー 】

- ① 成績下位者にチューター、メンターを付け、学習面・生活面で個別指導を行う。(23/49大学)
- ② 基礎科目の補習。(21/49大学)
- ③ 各年次毎の達成度のチェックと補習授業。国試対策。(17/49大学)
- ④モチベーションの向上(体験型実習、研究室配属、英語教育、留学、課外活動など)。(15/49大学)
- ⑤ 小人数によるグループ学習の推進。(7/49大学)
- ⑥ 進級判定の厳格化。(6/49大学)
- ⑦ 授業への出席チェック。(2/49大学)

学校種別	カテゴリー	記述欄
国立	①②⑤	<p>医学科での講義を受講するために必要な、最低限の知識を身につけさせるために、高校レベルでの「物理学」、「生物学」を1年次の早い時期で履修できるようにしている。</p> <p>また、各学年で学生十数人ごとに教員がチューターを担当しており、チューターは学生の悩み事の相談や勉強に対する指導も行っている。</p> <p>さらに、成績不良者には教務担当教員が個別に指導を行っている。</p>
国立	①④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学生のモチベーションアップ方策</li> <li>①カリキュラム改革 カリキュラム改革を行い、2年から1年へ、3年から2年へ科目を移し、早い時期から専門教育を取り入れる一方で、より高学年で履修すべき内容については、高学年に移した。</li> <li>②自由科目の設置 ・「医学研究の基礎」・・・医学科学生が希望した研究室の教員の指導を受けて一定の成果をあげられるよう研究を行い、成果を発表する。</li> <li>・「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」・・・医学部が推進する英語高度化プログラムの一環として、より高度な英語を学ぶために、アカデミックイングリッシュ、海外研修等、11科目を設け、このうち120時間以上履修した学生には修了認定証を授与している。また、英語学習支援センター「eクリニック」を設置し、英語学習や海外研修についての情報を発信したり、視聴覚教材を管理したりしている。</li> <li>●学力向上策</li> <li>①ピアサポート・プログラム 先輩学生、大学院生が低学年の学生に勉強や学生生活のサポートを行う。 ・「学生チューター」・・・4年生のチュートリアル教育コアタイムにおいて、6年生がチューターを務める。 ・「解剖学実習サポーター」・・・医学科において最も重要でかつ過酷な2年次の解剖学実習に、4年生がサポーターとして参加し、実習がスムーズに行われるようアドバイスする。</li> <li>②学生インセンティブ 成績優秀者及び成績向上者を医学部長が表彰し、教科書を副賞として授与する。</li> <li>③自習室の提供について 図書館は24時間開放、24室あるチュートリアル室は24時まで開放している。 また、定期試験期間中や国試前は、講義室を自習室として提供し、24時まで冷暖房を稼働している。</li> <li>④精神的に問題のある学生の対応 精神的に問題があり、不登校であったり、成績が不良であったりする学生については、学生相談室を中心に指導教員、関係教員及び学務課職員が集まって対応を検討している。留年を重ねる学生については、保護者に連絡し、三者面談を行っている。</li> </ul>
国立	①②	<p>当大学でも医学生留年者が近年増加しており、問題になりつつあります。特に、2年生の基礎医学科目(解剖学、生理学、生化学、免疫学、ウイルス学、等)で留年している学生は、1つの科目のみで留年しているものはほとんどおらず、3科目以上あるいは2年生のすべての科目を落第していることが多いようです。このような2年生の留年学生に対しては、教務担当の教員が複数で4月に面談し、生活面、精神面で問題ないかチェックしております。その上で、定期試験の成績のチェック、2-3ヶ月おきに面談を行いフォローを行っております。</p>
国立	⑥	<p>進級判定基準や臨床実習の評価基準の公表、卒業試験の評価基準の厳格化、授業成績や学年順位、CBT、OSCEの成績を通知することで、学生に成績について意識させる。</p>
国立	②⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上を図るため、25年度入学者より1年次全学共通教育の理数系科目を医学部開設科目として開講することとした。また、早期医学など独自の授業科目を設け、学習意欲の向上を図っている。併せて、1年次末に進級判定を実施することとした。</li> <li>・年度始め等、必要な時期に学年別の授業ガイダンスを開催し、各学年での学習目標等を説明している。</li> </ul>
国立	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・純粋な知識の不足については、入学後の「リメディアル教育」でかなりの程度まで対策可能であると考えている。</li> <li>・より根本的な対策として、大学入試センターは「センター試験」の全教科において難易度の異なる複数の問題を用意すべきである。特に現行のセンター試験における英語については全受験者が量も質も同じ問題を解くことになっており、現実的な受験生の多様性に対応できていない。医学科ではより難しい問題を出題すべきである。</li> <li>・しかしながら、学生の「マネジメント能力の低下」(顕著に現れているのは“集団としてクラスの運営をする能力”の低下)に対しては有効な対策が難しいであろう。短期的には教職員が介入することで解決できることも少なくはないが、それでは長期的な解決にはならない。本来的にはこれは初等中等教育の問題であると考えている。</li> </ul>
国立	③	<p>補習授業の充実</p>

【 カテゴリー 】

- ① 成績下位者にチューター、メンターを付け、学習面・生活面で個別指導を行う。(23/49大学)
- ② 基礎科目の補習。(21/49大学)
- ③ 各年次毎の達成度のチェックと補習授業。国試対策。(17/49大学)
- ④ モチベーションの向上(体験型実習、研究室配属、英語教育、留学、課外活動など)。(15/49大学)
- ⑤ 小人数によるグループ学習の推進。(7/49大学)
- ⑥ 進級判定の厳格化。(6/49大学)
- ⑦ 授業への出席チェック。(2/49大学)

学校種別	カテゴリー	記述欄
国立	②⑦	1年次でリメディアル教育(生物、物理、化学)を行っている。 講義・実習の出席をチェックしている。
国立	②	1. 入学時のオリエンテーションで1年次前期の成績と卒試の成績は正の相関が有ることをデータで示して、入学後引き続き学習に励むよう指導している。 2. 1年次前期に高校程度の物理、生物を開講し、高校時に選択しなかった科目の受講を義務付けている。
国立	①④	1. 成績不良の学生に対する指導の強化 ① 医学教育企画室を中心とする総合指導体制の確立 定期的な呼び出し、面談、問題点の解決 ② 指導教員の面談、フォローアップ体制の確立 ③ 各教科ごとのきめこまやかな指導 2. 共通教育科目の見直し 時間的にタイトになっており、準備コアカリキュラムに準拠した必要にして十分な指導内容に限定して行う。 3. 学生個人個人の応じた指導 1年次から、成績不良の学生に対するフォローを継続し、個人情報保護を尊重しつつ、一貫した指導を継続する。

【 カテゴリー 】

- ① 成績下位者にチューター、メンターを付け、学習面・生活面で個別指導を行う。(23/49大学)
- ② 基礎科目の補習。(21/49大学)
- ③ 各年次毎の達成度のチェックと補習授業。国試対策。(17/49大学)
- ④ モチベーションの向上(体験型実習、研究室配属、英語教育、留学、課外活動など)。(15/49大学)
- ⑤ 小人数によるグループ学習の推進。(7/49大学)
- ⑥ 進級判定の厳格化。(6/49大学)
- ⑦ 授業への出席チェック。(2/49大学)

学校種別	カテゴリー	記述欄
公立	⑤	学年担任教員やアドバイザー教員等による(学習面・生活面)個別指導の実施。
公立	②③	・1年生を対象に生物・物理のリメディアル講座を実施している。 ・5・6年生を対象に実力試験を実施しており、成績不良者を対象とした面談を行っている。
公立	①⑥	・早期の成績不振者の確認 ・個別面談の実施 ・進級判定の厳格化

【 カテゴリー 】

- ① 成績下位者にチューター、メンターを付け、学習面・生活面で個別指導を行う。(23/49大学)
- ② 基礎科目の補習。(21/49大学)
- ③ 各年次毎の達成度のチェックと補習授業。国試対策。(17/49大学)
- ④ モチベーションの向上(体験型実習、研究室配属、英語教育、留学、課外活動など)。(15/49大学)
- ⑤ 小人数によるグループ学習の推進。(7/49大学)
- ⑥ 進級判定の厳格化。(6/49大学)
- ⑦ 授業への出席チェック。(2/49大学)

学校種別	カテゴリー	記述欄
私立	①②	1年次で理科の補習を実施。各学年の成績不良者対象の補習も教務委員会主導の下、教授会の承認を得て随時行っている。指導体制については全学年に担任を置き、4学年までは副担任、5,6学年についてはチューターを置き、成績不良者に対する指導・面談を実施している。
私立	③	成績下位者に対し、補講を行ったり、医学部の教務委員会で対策を講じること。また、教員が一丸となって責任を持って指導を行うこと。
私立	①③	初年次の担当教員が主体となって、学生の学力と学修に対する能動的態度等を総合的に鑑み、早期の介入(面談など)を行う。
私立	①③⑤	①1人の教員が6人ぐらいの学生を受け持ち学習指導、生活指導を行い問題がありそうな学生の早期発見指導するメンター制の導入 ②自習施設の拡充 ③学生相談室の拡充 ④多留年者への面談 ⑤留年者の親子面談 ⑥週1回自由に相談を受けられる窓口である修学支援センターの設置 ⑦1. 2年次成績下位20%の学生、留年生に対して正規カリキュラム以外に定期的な補講 ⑧入学後TOEFLを受けさせ英語の能力別クラス編成 ⑨物理、生物未履修者(入試)の最低レベルを担保しようとする必修選択プログラム
私立	①③	国試不合格者とCBTの成績が相関している。従って低学年(特に1,2学年)の時点での成績不良者に個人的な指導(特に学習法)を行うことを考慮している。
私立	③⑤	・自己学習できる環境(設備)の提供 ・グループ学習の推進 ・学内試験の過去問題、医師国家試験の過去問題を用いた自己学習システムの提供 ・学生一人ひとりにアドバイザー教員をつける
私立	③⑥	・年度末に学生および保証人に成績表を送付している。その成績表には、成績評語の他、欄外に学年全体における成績相対評価(5区分)を記載している。さらにこの成績相対評価は担任制度でも利用しており、担任が自分の担当グループ(学生5～6名)の成績および順位を確認し、特に下位20%に入る学生を重点的にケアしている。
私立	①②④	・基礎学力調査と補講:1年次の早い時期に基礎学力調査を行う。特に理科学科については、「生物」「化学」「物理」の3科目のうちの2科目が入試科目となっている。これらのうち、医学部では必須と考える「生物」は受験者数が少なく、1年次にどの程度の基礎学力があるかを調査して、学力が低い学生には補講を行う。 ・e-learningでの自己学習:e-learningシステムを構築して学生が自己学習で学力を高めるシステムを構築する。 ・入学試験の改善:入学試験と在学中の成績を検討して、入学試験で下位の学生でも進級とともに上位の成績となる学生の入学試験における成績、内容について検討し、入学後に学力が向上する学生の特徴を合致した入学試験問題の作成を行う。 ・指導担任による学習・生活面のサポートを行っている。
私立	①	成績下位の学生に対して補習を実施(6年次)
私立	④	昨年度よりPBLチュートリアル授業を医学1年科目の1部と医学4年PBLとしての科目として課題を自分で調べ、まとめ、発表するといった自己学習能力を身につけることを取り入れている。
私立	②③	・学習サポートセンターを全学で設置し、高等学校で教鞭を取っていたチューターによる補習指導を行っている。 ・学部として医学教育研究開発センター学習支援研究部門を設置、医学生に対する学習支援、特にCBT対策、医師国家試験対策を行っている。
私立	②⑥	○生物学・化学の高校教育の補完をするブリッジ科目として「基礎化学」「基礎生物学」を開講しており、入学時に受講対象者選抜の試験を受験させている。 ○各学年に設定している「進級判定基準」を厳格化させて運用している。このため、2012年度の判定においては、多くの留年生が発生する結果となっている。
私立	①②⑦	近年、第1学年から授業に遅刻または欠席する学生が目立ち始めており、対策として、遅刻・欠席した場合には報告書を提出させるとともに、1週間の行動記録を担当教員がチェック・指導を行う取組みを平成24年度より開始している。また、基本的な国語力の低下が顕著であり、平成25年度よりレポート作成及び発表を通じて適切な日本語表現を身につけさせる科目「アカデミック・スキルズ」を開講した。さらに、第6学年の国試対策のみならず、第2～3学年の低学年成績不良者に対して特別補講を行っている。

【 カテゴリー 】

- ① 成績下位者にチューター、メンターを付け、学習面・生活面で個別指導を行う。(23/49大学)
- ② 基礎科目の補習。(21/49大学)
- ③ 各年次毎の達成度のチェックと補習授業。国試対策。(17/49大学)
- ④ モチベーションの向上(体験型実習、研究室配属、英語教育、留学、課外活動など)。(15/49大学)
- ⑤ 小人数によるグループ学習の推進。(7/49大学)
- ⑥ 進級判定の厳格化。(6/49大学)
- ⑦ 授業への出席チェック。(2/49大学)

学校種別	カテゴリー	記述欄
私立	②④	・1学年次において「自然科学基礎演習」を開講して、物理・化学・生物のうち高校で履修していない科目又は入試で選択しなかった科目を履修させている。 ・平成25年度から1学年次に行っていた早期体験実習(医師、看護体験等)の回数を増やし、医師になる意識を高め、学習意欲の向上の動機づけを行った。
私立	②③	平成25年4月から教養領域と専門領域が統合された6年一貫教育カリキュラムを策定し、1学年の3学期から基礎社会医学系科目を導入し、基礎医学修得の期間を伸ばすことで、医学生としての修学意欲を高めている。国家試験に備えるため4学年時の共用試験CBTの合格基準を引き上げ、6学年時に夏期・冬期休暇中に集中講義並びに成績下位学生への補講回数を多くし卒前教育の強化を図っている。
私立	③④	リメディアル教育の充実。 英語・日本語教育プログラムの拡充。 毎年入学後にプレースメントテストを実施し、学生の学力評価を行い、傾向を分析する。
私立	その他	平成26年度入試より、4教科6科目のセンター利用入試を導入することを決定しています。
私立	①	教務委員会において成績下位者に面談を行い指導している。また、学内コンサルタント、学年担任及び所属クラブ部長により随時、修学指導や種々の問題についての相談などを行っている。

医学生の学力低下に関するアンケート【2013】  
〈入力方法〉

- このアンケートは、全国の大学医学部・医科大学の医学生に関する質問です。
- 【平成25年度(2013)】のデータのご記入をお願い致します。  
設問によって、下記のとおり、対象となる年度(時期)等が異なりますので、ご注意下さい。  
(回答欄には夫々記載してあります)
  - ① 学生数は、「H25年4月時点」です。
  - ② その他の設問(共用試験成績、留年者数、休学者数、退学者数等)では、「H24年度(H24年4月1日～H25年3月31日)」の学生が対象です。
  - ③ 入試(センター試験・一般試験)は平成25年度(H25年4月入学)の学生が対象です。
- 回答は、 と  の欄に記入ください。
  - i) 記述式の回答は、出来るだけ要約した内容にて回答ください。  
○記述式回答欄で、強制改行をする場合は、(Alt + Enter)を使用してください。  
○回答欄が不足する場合には、「行の高さ」を広げてご回答ください。  
  
※このアンケート用紙は、回収後に集計作業を行うため、様々の設定が施されています。  
必ず、指定された回答欄への入力をお願いします。  
また、セル・行・列の挿入・削除は行わないようお願いします。
  - ii)  (緑地)のセルには計算式が入っています。(入力不要)
- 「注意点」は赤色の文字で表示してあります。確認のうえ、入力をお願いします。  
  
赤枠のセル    には、注意事項のコメントが付いております。  
確認のうえ、入力をお願いします。(「注意点」と重複している場合があります。)

# 医学生の学力低下に関するアンケート

大学名   No.

学長・医学部長等の責任者

連絡先 TEL

連絡先 E-mail

.....

回答者名

(上記と同じ場合は記入不要)

回答者(所属)

回答者(職位)

連絡先 TEL

連絡先 E-mail

問い合わせをする場合がございますので、必ず連絡先をご記入ください。

問い合わせをする場合がございますので、必ず連絡先をご記入ください。

1. 【平成25年度(2013)】の各学年学生数をお答えください。

H25年度(H25年4月1日現在)

1学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	男子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	女子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人
2学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	男子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	女子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人
3学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	男子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	女子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人
4学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	男子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	女子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人
5学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	男子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	女子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人
6学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	男子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	女子	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人

2. 就学期における成績について

1) 【平成24年度(2012)の学生】の、共用試験CBTおよびOSCEの成績

- 共用試験CBT総点(100点満点)
  共用試験OSCE総点(100点満点)

H24年度(H24年4月～H25年3月)

H24年度(H24年4月～H25年3月)

平均点   
 最低点

平均点   
 最低点

2) 【平成24年度(2012)の学生】の、各学年の留年者数、休学者数、退学者数

H24年度(H24年4月～H25年3月)

留年者	休学者	退学者
1学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	1学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	1学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人
2学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	2学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	2学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人
3学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	3学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	3学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人
4学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	4学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	4学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人
5学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	5学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	5学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人
6学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	6学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人	6学年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 人
<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人	<input style="width: 30px;" type="text"/> 人

3) 【平成24年度(2012)の学生】の、4月時点の6年生の在籍数、同学年の翌月3月の国家試験現役合格者数

H24年度(H24年4月)

人

H24年度(H25年3月)

医師国家試験合格者 人

3. 【一般選抜試験にセンター試験を採用している大学】

貴学「前期一般選抜試験の最終合格者」について、センター試験の総合点を出来る限りお答えください。

- \* 貴学の前期一般選抜試験を受験した者(全国枠・地域枠を含む)で、最終的に合格した者(入学者)についてお答えください。(後期一般選抜、推薦・AO選抜は対象外とします)
- \* 平均点・最低点は素点でお答えください。また、満点の点数もご記入ください。

平均点と最低点を素点で記入できないものに関して

- \* 素点ではなく換算点などの代表値でも可能
- \* 後期試験結果については記入不要です

【総合点】

H25年度(H25年4月入学者)

平均点  
最低点  
(満点)

<input type="text"/>
<input type="text"/>

4. 【一般選抜試験にセンター試験を採用していない大学】

貴学「最終合格者」について、【平成25年度(2013)】の一般選抜の学科試験の総合点を出来る限りお答えください。

- \* 貴学の一般選抜を受験した者(全国枠・地域枠を含む)で、最終的に合格した者(入学者)についてお答えください。(推薦・AO、その他の特別選抜は対象外とします)
- \* 平均点・最低点は素点でお答えください。また、満点の点数もご記入ください。(小論文・面接の点数を省いた学科試験のみの点数を記入してください)

【総合点】

H25年度(H25年4月入学者)

平均点  
最低点  
(満点)

<input type="text"/>
<input type="text"/>

\* 学力低下に関する対策案をお書きください。

ご協力ありがとうございました。

医学生の学力低下問題に関するアンケート調査結果報告書

発行日 平成25年12月

発行者 一般社団法人全国医学部長病院長会議(AJMC)

医学生の学力低下問題検討ワーキンググループ

〒113-0034

東京都文京区湯島1-3-11 お茶の水プラザ4F

電話 03-3813-4610 FAX 03-0813-4660

E-mail info@ajmc.jp

印刷 株式会社 興 版 社